



## 平成29年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
コード番号 8377 URL <http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 庵 栄伸  
問合せ先責任者 (役職名) 企画グループ長 (氏名) 北川 博邦  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月24日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日

TEL 076-423-7331

平成28年12月9日

特定取引勘定設置の有無 有  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	93,960	△5.2	23,709	△9.3	16,768	0.6
28年3月期中間期	99,139	2.8	26,153	19.5	16,661	20.6

(注) 包括利益 29年3月期中間期 12,990百万円 (286.8%) 28年3月期中間期 3,358百万円 (△88.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期中間期	120.35	120.19
28年3月期中間期	118.33	118.18

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期中間期	11,942,355	569,273	4.8	3,914.56
28年3月期	11,630,328	566,251	4.9	3,806.14

(参考) 自己資本 29年3月期中間期 567,452百万円 28年3月期 564,553百万円

(注) 1. 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出してしております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(注) 2. 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.25	4.25
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	42.50	42.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 2. 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金及び年間配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金は4円25銭となります。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	182,000	△5.5	39,500	△14.9	27,000	△6.4
						191.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期中間期	132,163,014 株	28年3月期	135,163,014 株
② 期末自己株式数	29年3月期中間期	1,131,271 株	28年3月期	1,160,713 株
③ 期中平均株式数(中間期)	29年3月期中間期	132,626,255 株	28年3月期中間期	133,990,217 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(個別業績の概要)

平成29年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 個別経営成績 (％表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	1,177	4.0	838	0.3	807	△0.3	805	△0.5
28年3月期中間期	1,132	0.1	836	△0.2	810	0.3	809	0.5

1株当たり中間純利益	
	円 銭
29年3月期中間期	△0.00
28年3月期中間期	0.02

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前事業年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	264,943		227,664			85.8
28年3月期	270,081		236,827			87.6

(参考)自己資本 29年3月期中間期 227,280百万円 28年3月期 236,507百万円

※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期(中間期)決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期(中間期)決算短信の開示時点において、中間連結財務諸表及び中間財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 「投資家向け説明会」の資料は、当社ホームページに掲載を予定しております。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

○第1回第5種優先株式

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7 50	—	7 50	15 00
29年3月期	—	7 50			
29年3月期(予想)			—	7 50	15 00

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当中間期における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 中間連結財務諸表	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(会計方針の変更)	14
(中間連結貸借対照表関係)	15
(中間連結損益計算書関係)	17
(中間連結株主資本等変動計算書関係)	18
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	20
(リース取引関係)	20
(金融商品関係)	21
(有価証券関係)	24
(金銭の信託関係)	25
(その他有価証券評価差額金)	26
(ストック・オプション等関係)	27
(セグメント情報等)	28
(1株当たり情報)	31
(重要な後発事象)	31
4. 中間財務諸表(個別)	32
(1) 中間貸借対照表(個別)	32
(2) 中間損益計算書(個別)	34
(3) 中間株主資本等変動計算書(個別)	35
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	37
(継続企業の前提に関する注記(個別))	37
(重要な会計方針(個別))	37
(中間損益計算書関係(個別))	37
(有価証券関係(個別))	37
(重要な後発事象(個別))	37

5. 補足情報 .....	38
株式会社北陸銀行の個別業績の概要 .....	38
株式会社北海道銀行の個別業績の概要 .....	43
平成28年度中間決算説明資料 .....	48
I. 平成28年度中間決算ハイライト .....	49
1. 損益の状況 .....	49
2. 主要勘定 .....	53
3. 有価証券の状況 .....	55
4. 金融再生法開示債権 .....	56
5. 自己資本比率 .....	57
6. 業績予想 .....	57
II. 平成28年度中間決算の概況 .....	58
1. 損益状況 .....	58
2. 資金運用調達勘定(平残) .....	61
3. 利回り・利鞘 .....	61
4. 業務純益 .....	62
5. ROE・OHR・ROA .....	62
6. 営業経費・人員の推移・店舗数の推移 .....	63
7. 有価証券関係損益 .....	64
8. 有価証券の評価損益 .....	65
9. 自己資本比率 .....	66
III. 貸出金等の状況 .....	67
1. 金融再生法開示債権 .....	67
2. 金融再生法開示債権の保全状況 .....	68
3. リスク管理債権の状況 .....	71
4. 貸倒引当金の状況 .....	72
5. リスク管理債権に対する引当率 .....	72
6. 預金・貸出金の残高 .....	73
7. 中小企業等貸出残高・比率 .....	73
8. 個人ローン残高 .....	73
9. 業種別貸出状況等 .....	74

1. 当中間期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の経常収益は、貸出金利息および株式等売却益の減少を主因として、前中間連結会計期間比51億円減少して939億円となりました。一方、経常費用は、預金利息や営業経費の減少に加え、貸倒引当金繰入額が貸倒引当金戻入益に転じたことにより、前中間連結会計期間比27億円減少して702億円となりました。この結果、経常利益は、前中間連結会計期間比24億円減少して237億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益が24億円減少しましたが、税金費用の減少により、前中間連結会計期間比1億円増加の167億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

貸出金の当中間連結会計期間末残高は、個人ローン及び事業性貸出の増加により、前連結会計年度末比967億円増加して7兆6,797億円となりました。

預金・譲渡性預金の当中間連結会計期間末残高は、個人預金の増加を主因に、前連結会計年度末比276億円増加して10兆5,030億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表した連結業績予想を、下記のとおり修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円、円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
当初予想 (A)	180,000	35,000	23,000	159.59
修正後予想 (B)	182,000	39,500	27,000	191.42
増減額 (B-A)	2,000	4,500	4,000	

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当初予想及び修正後予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当中間連結会計期間から適用しております。

3. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,235,499	1,375,750
コールローン及び買入手形	65,016	84,375
買入金銭債権	62,034	58,403
特定取引資産	4,631	4,790
金銭の信託	8,344	9,027
有価証券	※1,※7,※13 2,406,589	※1,※7,※13 2,461,357
貸出金	※2,※3,※4,※5,※6,※7,※8 7,582,954	※2,※3,※4,※5,※6,※7,※8 7,679,750
外国為替	※6 14,771	※6 14,503
その他資産	※1,※7 108,066	※1,※7 111,659
有形固定資産	※9,※10 101,080	※9,※10 100,459
無形固定資産	23,974	22,523
繰延税金資産	7,244	6,023
支払承諾見返	65,044	66,463
貸倒引当金	△54,925	△52,733
資産の部合計	11,630,328	11,942,355
<b>負債の部</b>		
預金	※7 10,231,408	※7 10,285,233
譲渡性預金	244,008	217,863
コールマネー及び売渡手形	※7 20,845	※7 33,145
債券貸借取引受入担保金	※7 92,954	※7 341,141
特定取引負債	1,129	1,068
借入金	※7,※11 207,252	※7,※11 220,411
外国為替	226	739
社債	※12 33,000	※12 33,000
その他負債	126,529	135,773
退職給付に係る負債	20,459	17,793
役員退職慰労引当金	230	212
偶発損失引当金	1,957	1,525
睡眠預金払戻損失引当金	1,419	1,485
繰延税金負債	11,883	11,531
再評価に係る繰延税金負債	※9 5,724	※9 5,692
支払承諾	65,044	66,463
負債の部合計	11,064,076	11,373,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
資本金	70,895	70,895
資本剰余金	148,211	144,584
利益剰余金	263,959	274,298
自己株式	△1,489	△1,393
株主資本合計	481,576	488,384
その他有価証券評価差額金	83,834	78,936
繰延ヘッジ損益	△1,596	△1,680
土地再評価差額金	※9 9,079	※9 9,006
退職給付に係る調整累計額	△8,340	△7,194
その他の包括利益累計額合計	82,976	79,067
新株予約権	319	384
非支配株主持分	1,378	1,436
純資産の部合計	566,251	569,273
負債及び純資産の部合計	11,630,328	11,942,355

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
経常収益	99,139	93,960
資金運用収益	64,413	62,003
(うち貸出金利息)	49,282	46,827
(うち有価証券利息配当金)	13,833	13,913
役務取引等収益	20,162	19,142
特定取引収益	142	95
その他業務収益	7,294	6,732
その他経常収益	※1 7,126	※1 5,987
経常費用	72,985	70,250
資金調達費用	3,473	2,703
(うち預金利息)	1,731	939
役務取引等費用	7,116	7,047
その他業務費用	4,608	5,371
営業経費	※2 50,405	※2 49,628
その他経常費用	※3 7,382	※3 5,499
経常利益	26,153	23,709
特別利益	66	32
固定資産処分益	4	32
退職給付信託設定益	62	—
特別損失	791	326
固定資産処分損	271	82
減損損失	※4 519	※4 243
税金等調整前中間純利益	25,429	23,415
法人税、住民税及び事業税	7,309	5,123
法人税等調整額	1,389	1,462
法人税等合計	8,698	6,586
中間純利益	16,730	16,829
非支配株主に帰属する中間純利益	69	60
親会社株主に帰属する中間純利益	16,661	16,768

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
中間純利益	16,730	16,829
その他の包括利益	△13,371	△3,838
その他有価証券評価差額金	△13,993	△4,901
繰延ヘッジ損益	△405	△83
退職給付に係る調整額	1,028	1,146
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
中間包括利益	3,358	12,990
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,286	12,931
非支配株主に係る中間包括利益	71	58

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	70,895	148,197	242,701	△1,514	460,279
当中間期変動額					
剰余金の配当			△6,500		△6,500
親会社株主に帰属する中間純利益			16,661		16,661
自己株式の取得				△14	△14
自己株式の処分		14		43	58
自己株式の消却					
土地再評価差額金の取崩			△288		△288
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	14	9,872	29	9,916
当中間期末残高	70,895	148,211	252,574	△1,484	470,196

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	101,033	△845	8,502	2,473	111,164	266	1,276	572,987
当中間期変動額								
剰余金の配当								△6,500
親会社株主に帰属する中間純利益								16,661
自己株式の取得								△14
自己株式の処分								58
自己株式の消却								
土地再評価差額金の取崩								△288
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△13,997	△405	288	1,028	△13,086	53	71	△12,961
当中間期変動額合計	△13,997	△405	288	1,028	△13,086	53	71	△3,044
当中間期末残高	87,035	△1,250	8,790	3,502	98,078	319	1,348	569,942

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	70,895	148,211	263,959	△1,489	481,576
当中間期変動額					
剰余金の配当			△6,501		△6,501
親会社株主に帰属する中間純利益			16,768		16,768
自己株式の取得				△3,591	△3,591
自己株式の処分		19		40	60
自己株式の消却		△3,647		3,647	—
土地再評価差額金の取崩			72		72
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△3,627	10,339	96	6,808
当中間期末残高	70,895	144,584	274,298	△1,393	488,384

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	83,834	△1,596	9,079	△8,340	82,976	319	1,378	566,251
当中間期変動額								
剰余金の配当								△6,501
親会社株主に帰属する中間純利益								16,768
自己株式の取得								△3,591
自己株式の処分								60
自己株式の消却								—
土地再評価差額金の取崩								72
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△4,898	△83	△72	1,146	△3,909	64	58	△3,786
当中間期変動額合計	△4,898	△83	△72	1,146	△3,909	64	58	3,021
当中間期末残高	78,936	△1,680	9,006	△7,194	79,067	384	1,436	569,273

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	25,429	23,415
減価償却費	4,024	2,915
減損損失	519	243
のれん償却額	1,051	1,051
持分法による投資損益(△は益)	△8	△7
貸倒引当金の増減(△)	△53	△2,191
偶発損失引当金の増減(△)	31	△432
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,654	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,048	△2,666
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△53	△18
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△45	65
資金運用収益	△64,413	△62,003
資金調達費用	3,473	2,703
有価証券関係損益(△)	△1,861	1,326
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	23	△16
為替差損益(△は益)	100	11,741
固定資産処分損益(△は益)	267	50
特定取引資産の純増(△)減	108	△159
特定取引負債の純増減(△)	△107	△60
貸出金の純増(△)減	43,117	△96,795
預金の純増減(△)	△67,960	53,825
譲渡性預金の純増減(△)	54,154	△26,144
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	623	13,158
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	10,274	1,092
コールローン等の純増(△)減	37,476	△15,727
コールマネー等の純増減(△)	1,732	12,299
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	43,051	248,186
外国為替(資産)の純増(△)減	△511	267
外国為替(負債)の純増減(△)	△24	512
資金運用による収入	50,632	48,574
資金調達による支出	△3,016	△2,699
その他	△1,374	29,272
小計	133,958	241,781
法人税等の支払額	△4,958	△5,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,999	236,354

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△416,349	△555,775
有価証券の売却による収入	270,021	314,937
有価証券の償還による収入	183,954	145,334
金銭の信託の増加による支出	△7,682	△9,849
金銭の信託の減少による収入	7,833	9,180
投資活動としての資金運用による収入	13,833	13,929
有形固定資産の取得による支出	△1,191	△1,625
有形固定資産の売却による収入	31	3
無形固定資産の取得による支出	△448	△605
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,002	△84,470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
劣後特約付借入金の返済による支出	△22,000	—
財務活動としての資金調達による支出	△710	△376
配当金の支払額	△6,500	△6,501
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	△14	△3,591
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,224	△10,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△70
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	149,776	141,344
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,068	1,193,798
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 1,298,845	※1 1,335,142

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社 11社

主要な会社名 株式会社北陸銀行 株式会社北海道銀行

(2) 非連結子会社 6社

非連結子会社は、その資産、経常収益、中間純損益(持分に見合う額)、利益剰余金(持分に見合う額)及びその他の包括利益累計額(持分に見合う額)等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社 なし

(2) 持分法適用の関連会社 1社

会社名 ほくほくキャピタル株式会社

(3) 持分法非適用の非連結子会社 6社

持分法非適用の非連結子会社は、中間純損益(持分に見合う額)、利益剰余金(持分に見合う額)及びその他の包括利益累計額(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

(4) 持分法非適用の関連会社 なし

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

すべての連結子会社の中間期の末日は、中間連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 特定取引資産・負債の評価基準及び収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的(以下「特定取引目的」)の取引については、取引の約定時点を基準とし、中間連結貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を中間連結損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。

特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については中間連結決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については中間連結決算日において決済したものとみなした額により行っております。

また、特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当中間連結会計期間中の受払利息等に、有価証券及び金銭債権等については前連結会計年度末と当中間連結会計期間末における評価損益の増減額を、派生商品については前連結会計年度末と当中間連結会計期間末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

(イ) 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、その他有価証券のうち株式については原則として中間連結会計期間末前1カ月の市場価格の平均に基づく価格、それ以外については原則として中間連結会計期間末日における市場価格等に基づく時価法(売却原価は主として移動平均法により算定)、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては、移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(ロ) 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、上記(1)及び(2)(イ)と同じ方法により行っております。

(3) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引(特定取引目的の取引を除く)の評価は、時価法により行っております。

(4) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

当社及び銀行業を営む連結子会社の有形固定資産は、動産については定率法、不動産については主として定額法を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分して計上しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物 : 6年～50年

その他 : 3年～20年

銀行業を営む連結子会社以外の連結子会社の有形固定資産については、資産の見積耐用年数に基づき、主として定率法により償却しております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、当社及び連結子会社で定める利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。

また、のれんの償却については、20年間で均等償却を行っております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法により償却しております。なお、残存価額については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零としております。

(5) 貸倒引当金の計上基準

銀行業を営む連結子会社の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下「破綻先」という）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下「実質破綻先」という）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下「破綻懸念先」という）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者で非保全額又は与信額が一定金額以上の大口債務者のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積もることができる債権については、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利率で割り引いた金額と債権の帳簿価額の差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）により計上しております。

上記以外の債権については、一定の種類ごとに分類し、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。

当社及び銀行業を営む連結子会社以外の連結子会社においても同様に資産の自己査定を行い、必要な額を計上しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は53,115百万円（前連結会計年度末は61,483百万円）であります。

(6) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員退職慰労引当金は、役員への退職慰労金の支払に備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち、当中間連結会計期間末までに発生していると認められる額を計上しております。

なお、当社及び銀行業を営む連結子会社の役員退職慰労金制度については、平成24年5月11日開催の取締役会で廃止することを決定し、平成24年6月26日開催の定時株主総会にて、役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給が承認されております。これに伴い、当社及び銀行業を営む連結子会社の役員退職慰労引当金の繰入は平成24年6月の繰入をもって停止し、既引当金については継続して役員退職慰労引当金として計上しております。

(7) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、信用保証協会における責任共有制度等に基づく、将来発生する可能性のある負担金支払見込額及び他の引当金で引当対象とした事象以外の偶発事象に対し、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額をそれぞれ計上しております。

(8) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準

睡眠預金払戻損失引当金は、負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、将来の払戻請求に応じて発生する損失を見積り必要と認める額を計上しております。

(9) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間連結会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（8年）による定額法により損益処理  
数理計算上の差異：各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（8年又は9年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から損益処理

なお、銀行業を営む連結子会社以外の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る当中間連結会計期間末の自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(10) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債については、主として中間連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。

(11) 重要なヘッジ会計の方法

(イ) 金利リスク・ヘッジ

銀行業を営む連結子会社の金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法として、一部の資産・負債について、ヘッジ対象とヘッジ手段を直接対応させる「個別ヘッジ」を適用し、繰延ヘッジによる会計処理あるいは金利スワップの特例処理を行っております。

ヘッジの有効性評価の方法については、リスク管理手続きに則り、ヘッジ指定を行い、ヘッジ手段とヘッジ対象を一体管理するとともに、ヘッジ手段によってヘッジ対象の金利リスクが減殺されているかどうかを検証することで評価しております。

(ロ) 為替変動リスク・ヘッジ

銀行業を営む連結子会社の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号 平成14年7月29日）に規定する繰延ヘッジによっております。

ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

(ハ) 当社及び銀行業を営む連結子会社以外の連結子会社においては、デリバティブ取引によるヘッジを行っておりません。

(12) 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、中間連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。

(13) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税（以下、消費税等という）の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、有形固定資産に係る控除対象外消費税等は当中間連結会計期間の費用に計上しております。

(14) ファイナンス・リース取引に係る収益の計上基準

リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当中間連結会計期間から適用しております。

(中間連結貸借対照表関係)

※1. 非連結子会社及び関連会社の株式又は出資額の総額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
株式	227百万円	235百万円
出資金	535百万円	549百万円

※2. 貸出金のうち、破綻先債権額及び延滞債権額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
破綻先債権額	4,774百万円	4,276百万円
延滞債権額	144,418百万円	137,860百万円

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という)のうち、法人税法施行令(昭和40年政令第97号)第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

※3. 貸出金のうち、3カ月以上延滞債権額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
3カ月以上延滞債権額	376百万円	764百万円

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

※4. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
貸出条件緩和債権額	19,731百万円	18,671百万円

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

※5. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
合計額	169,300百万円	161,573百万円

なお、上記2. から5. に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

※6. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号 平成14年2月13日)に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及び買入外国為替等は、売却又は(再)担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
	45,905百万円	37,576百万円

※7. 担保に供している資産は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
担保に供している資産		
有価証券	444,040百万円	710,820百万円
貸出金	111,032百万円	162,551百万円

担保資産に対応する債務

預金	27,848百万円	17,936百万円
コールマネー	—百万円	20,000百万円
債券貸借取引受入担保金	92,954百万円	341,141百万円
借入金	161,990百万円	178,108百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
有価証券	140,922百万円	140,828百万円
その他資産(現金)	219百万円	220百万円

また、その他資産には、先物取引差入証拠金、金融商品等差入担保金及び保証金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
先物取引差入証拠金	8百万円	7百万円
金融商品等差入担保金	1,277百万円	4,716百万円
保証金	3,986百万円	3,982百万円

※8. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
融資未実行残高	2,336,084百万円	2,380,576百万円
うち原契約期間が1年以内のもの又は任意の時期に無条件で取消可能なもの	2,284,348百万円	2,320,190百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社及び連結子会社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、連結子会社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている行内(社内)手続きに基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

※9. 土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公布法律第34号)に基づき、株式会社北陸銀行の事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価を行った年月日

平成10年3月31日

同法律第3条第3項に定める再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第4号に定める算定方法に基づき、地価税法に規定する地価税の課税価格の計算基礎となる土地の価額(路線価)を基準として時価を算出しております。

同法律第10条に定める再評価を行った事業用の土地の期末における時価の合計額と当該事業用の土地の再評価後の帳簿価額の合計額との差額

前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
19,978百万円	19,677百万円

※10. 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
減価償却累計額	104,871百万円	105,999百万円

※11. 借入金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
劣後特約付借入金	39,500百万円	39,500百万円

※12. 社債は、全額、劣後特約付期限付劣後債であります。

※13. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)による社債に対する保証債務の額

前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
131,164百万円	141,160百万円

(中間連結損益計算書関係)

※1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
貸倒引当金戻入益	一百万円	貸倒引当金戻入益	574百万円
株式等売却益	4,893百万円	株式等売却益	2,533百万円

※2. 営業経費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
給料・手当	19,958百万円	給料・手当	19,871百万円
退職給付費用	2,149百万円	退職給付費用	2,171百万円

※3. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
貸倒引当金繰入額	1,840百万円	貸倒引当金繰入額	一百万円
株式等売却損	3,405百万円	株式等売却損	3,910百万円
株式等償却	222百万円	株式等償却	186百万円

※4. 以下の資産について減損損失を計上しております。

前中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

地域	主な用途	種類	減損損失 (百万円)
北海道	営業用店舗 3か所	土地及び建物	72
	遊休資産 3か所	土地	2
北陸三県	営業用店舗 6か所	土地及び建物	423
	遊休資産 2か所	土地	0
その他	営業用店舗 1か所	建物	18
	遊休資産 3か所	土地	1
合計	—	—	519

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

地域	主な用途	種類	減損損失 (百万円)
北海道	営業用店舗 1か所	土地及び建物	111
	遊休資産 1か所	土地	0
北陸三県	営業用店舗 2か所	土地	2
	遊休資産 1か所	土地	0
その他	営業用店舗 1か所	土地	2
	遊休資産 3か所	土地	126
合計	—	—	243

これらの営業用店舗等は、営業キャッシュ・フローの低下及び継続的な地価の下落等により、資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

銀行業を営む連結子会社は、営業用店舗については、キャッシュ・フローの相互補完性に基づき一定の地域別に区分した営業用店舗エリアを基礎とする管理会計上の区分をグルーピングの単位としております。本部、コンピューターセンター、寮・社宅、厚生施設等については、独立したキャッシュ・フローを生み出さないことから共用資産としております。上記以外の連結子会社については各社を一つの単位としてグルーピングを行っております。なお、処分予定資産及び遊休資産については、各社、各資産単位でグルーピングしております。

なお、減損損失の測定に使用した回収可能価額は正味売却価額であり、重要性の高い不動産については第三者から入手した鑑定評価額、それ以外については「不動産鑑定評価基準」等に基づき算定しております。

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

前中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首株式数(千株)	当中間連結会計期間増加株式数(千株)	当中間連結会計期間減少株式数(千株)	当中間連結会計期間末株式数(千株)	摘要
発行済株式					
普通株式	1,351,630	—	—	1,351,630	
第1回第5種優先株式	107,432	—	—	107,432	
合計	1,459,062	—	—	1,459,062	
自己株式					
普通株式	11,887	48	347	11,587	注1, 2
第1回第5種優先株式	1	0	—	2	注3
合計	11,888	49	347	11,590	

- (注) 1. 普通株式の自己株式の株式数の増加48千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。  
 2. 普通株式の自己株式の株式数の減少347千株は、ストック・オプションの行使による減少345千株、単元未満株主からの売渡請求による減少2千株であります。  
 3. 第1回第5種優先株式の自己株式の株式数の増加0千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 新株予約権に関する事項

区分	新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当中間連結会計期間末残高(百万円)
			当連結会計年度期首	当中間連結会計期間増加	当中間連結会計期間減少	当中間連結会計期間末	
当社	ストック・オプションとしての新株予約権		—	—	—	—	319
	合計		—	—	—	—	319

3. 配当に関する事項

(1) 当中間連結会計期間中の配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	5,694	4.25	平成27年3月31日	平成27年6月29日
	第1回第5種優先株式	805	7.50	平成27年3月31日	平成27年6月29日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年11月11日 取締役会	第1回第5種優先株式	805	利益剰余金	7.50	平成27年9月30日	平成27年12月10日

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首株式数(千株)	当中間連結会計期間増加株式数(千株)	当中間連結会計期間減少株式数(千株)	当中間連結会計期間末株式数(千株)	摘要
発行済株式					
普通株式	1,351,630	—	30,000	1,321,630	注1
第1回第5種優先株式	107,432	—	—	107,432	
合計	1,459,062	—	30,000	1,429,062	
自己株式					
普通株式	11,607	30,025	30,320	11,312	注2, 3
第1回第5種優先株式	2	—	—	2	
合計	11,609	30,025	30,320	11,314	

- (注) 1. 普通株式の発行済株式の株式数の減少30,000千株は、一部消却であります。  
 2. 普通株式の自己株式の株式数の増加30,025千株は、自己株式取得による増加30,000千株、単元未満株式の買取りによる増加25千株であります。  
 3. 普通株式の自己株式の株式数の減少30,320千株は、自己株式の一部消却による減少30,000千株、ストック・オプションの行使による減少317千株、単元未満株主からの売渡請求による減少2千株であります。

2. 新株予約権に関する事項

区分	新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当中間連結会計期間末残高(百万円)
			当連結会計年度期首	当中間連結会計期間増加	当中間連結会計期間減少	当中間連結会計期間末	
当社	ストック・オプションとしての新株予約権		—				384
	合計		—				384

3. 配当に関する事項

(1) 当中間連結会計期間中の配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月24日 定時株主総会	普通株式	5,695	4.25円	平成28年3月31日	平成28年6月27日
	第1回第5種優先株式	805	7.50円	平成28年3月31日	平成28年6月27日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年11月11日 取締役会	第1回第5種優先株式	805	利益剰余金	7.50円	平成28年9月30日	平成28年12月9日

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金預け金勘定	1,350,109百万円	1,375,750百万円
預け金(日本銀行預け金を除く)	△51,263百万円	△40,607百万円
現金及び現金同等物	1,298,845百万円	1,335,142百万円

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

① リース資産の内容

(ア)有形固定資産

主として、ATM及び電子計算機であります。

(イ)無形固定資産

ソフトウェアであります。

② リース資産の減価償却の方法

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計方針に関する事項」の「(4)固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1年内	2	1
1年超	0	—
合計	2	1

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません(注2)参照)。また、重要性の乏しいものは省略しております。

前連結会計年度(平成28年3月31日)

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金預け金	1,235,499	1,235,499	—
(2) コールローン及び買入手形	65,016	65,016	—
(3) 買入金銭債権(※1)	54,066	54,066	—
(4) 有価証券			
満期保有目的の債券	177,386	191,352	13,966
その他有価証券	2,201,352	2,201,352	—
(5) 貸出金	7,582,954		
貸倒引当金(※1)	△52,705		
	7,530,249	7,658,038	127,788
資産計	11,263,571	11,405,325	141,754
(1) 預金	10,231,408	10,232,158	750
(2) 譲渡性預金	244,008	244,009	0
(3) 債券貸借取引受入担保金	92,954	92,954	—
(4) 借入金	207,252	208,812	1,559
負債計	10,775,624	10,777,935	2,310
デリバティブ取引(※2)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	6,639	6,639	—
ヘッジ会計が適用されているもの	1,784	1,784	(※3) —
デリバティブ取引計	8,424	8,424	—

(※1) 貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。なお、買入金銭債権に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、連結貸借対照表計上額から直接減額しております。

(※2) 特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( )で表示しております。

(※3) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている貸出金と一体として処理されているため、その時価は当該貸出金に含めて記載しております。

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

	中間連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金預け金	1,375,750	1,375,750	—
(2) コールローン及び買入手形	84,375	84,375	—
(3) 買入金銭債権(※1)	50,530	50,530	—
(4) 有価証券			
満期保有目的の債券	186,828	201,526	14,697
その他有価証券	2,246,589	2,246,589	—
(5) 貸出金	7,679,750		
貸倒引当金(※1)	△50,670		
	7,629,079	7,759,972	130,892
資産計	11,573,153	11,718,743	145,590
(1) 預金	10,285,233	10,285,790	556
(2) 譲渡性預金	217,863	217,864	0
(3) 債券貸借取引受入担保金	341,141	341,141	—
(4) 借入金	220,411	222,055	1,643
負債計	11,064,650	11,066,851	2,200
デリバティブ取引(※2)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	3,829	3,829	—
ヘッジ会計が適用されているもの	5,236	5,236	(※3) —
デリバティブ取引計	9,066	9,066	—

(※1) 貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。なお、買入金銭債権に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、中間連結貸借対照表計上額から直接減額しております。

(※2) 特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( )で表示しております。

(※3) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている貸出金と一体として処理されているため、その時価は当該貸出金に含めて記載しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。満期のある預け金については、預入期間に基づく区分ごとに、市場金利に信用リスク等を加味した利率で割り引いた現在価値を算定しております。なお、預入期間が1年以内のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) コールローン及び買入手形

コールローン及び買入手形は、約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3) 買入金銭債権

買入金銭債権のうち、投資家として購入した住宅ローン債権の信託受益権及び貸付債権の信託受益権については、取引金融機関から提示された価格を時価としております。また、資産流動化の小口債権は、期間毎の市場金利に信用リスク等を加味した利率で割り引いた現在価値を算定しております。

(4) 有価証券

株式は期末前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された価格、債券は取引所の価格又は公表されている価格、これらが無い場合には合理的な見積もりに基づいて算定された価格によっております。投資信託は、公表されている基準価格によっております。

自行保証付私募債は、内部格付、残存期間に基づく区分ごとに、市場金利に信用リスク等を加味した利率で割り引いた現在価値を算定しております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については「(有価証券関係)」に記載しております。

(5) 貸出金

貸出金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映するため、貸出先の信用状態が実行後大きく異ならない限り、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、貸出金の種類及び内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を市場金利に信用リスク等を加味した利率で割り引いて時価を算定しております。なお、約定期間が1年以内のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は中間連結決算日（連結決算日）における中間連結貸借対照表（連結貸借対照表）上の債権等計上額から貸倒引当金計上額を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

貸出金のうち、当該貸出を担保資産の範囲内に限るなどの特性により、返済期限を設けていないものについては、返済見込み期間及び金利条件等から、時価は帳簿価額に近似しているものと想定されるため、帳簿価額を時価としております。

負 債

(1) 預金及び(2) 譲渡性預金

要求払預金については、中間連結決算日（連結決算日）に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。また、定期預金及び譲渡性預金の時価は、一定の期間ごとに区分して、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定しております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、預入期間が1年以内のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3) 債券貸借取引受入担保金

債券貸借取引受入担保金については、約定期間が1年以内であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(4) 借入金

借入金のうち変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社及び連結子会社等の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。なお、約定期間が1年以内のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

デリバティブ取引

デリバティブ取引は、金利関連取引（金利先物、金利オプション、金利スワップ等）、通貨関連取引（通貨先物、通貨オプション、通貨スワップ等）、債券関連取引（債券先物、債券先物オプション等）、商品関連取引であり、取引所の価格、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算出した価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「資産(3)買入金銭債権」及び「資産(4)その他有価証券」には含まれておりません。

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
① 買入金銭債権(住宅ローン証券化における劣後受益権)(※1)	7,967	7,872
② 非上場株式(※1)(※2)	27,849	27,938
③ 非上場外国証券(※1)	0	0
合計	35,817	35,811

(※1) 市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

(※2) 前連結会計年度において、非上場株式について747百万円減損処理を行っております。  
当中間連結会計期間において、非上場株式について73百万円減損処理を行っております。

(表示方法の変更)

「債券貸借取引受入担保金」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より注記しております。

(有価証券関係)

- ※1. 中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)の「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の信託受益権等を含めて記載しております。  
 ※2. 「子会社株式及び関連会社株式」については、中間財務諸表における注記事項として記載しております。

1. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(平成28年3月31日)

	種類	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
時価が連結貸借対照表 計上額を超えるもの	国債	70,572	83,391	12,818
	社債	96,420	97,631	1,211
	小計	166,993	181,023	14,030
時価が連結貸借対照表 計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	社債	10,393	10,329	△64
	小計	10,393	10,329	△64
合計		177,386	191,352	13,966

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

	種類	中間連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
時価が中間連結貸借対 照表計上額を超えるも の	国債	69,065	82,292	13,226
	社債	103,881	105,398	1,516
	小計	172,946	187,690	14,743
時価が中間連結貸借対 照表計上額を超えない もの	国債	—	—	—
	社債	13,881	13,836	△45
	小計	13,881	13,836	△45
合計		186,828	201,526	14,697

2. その他有価証券

前連結会計年度(平成28年3月31日)

	種類	連結貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
連結貸借対照表計上額 が取得原価を超えるも の	株式	153,077	79,285	73,792
	債券	1,606,346	1,566,627	39,718
	国債	1,100,025	1,072,904	27,121
	地方債	319,818	312,160	7,657
	社債	186,502	181,562	4,940
	その他	308,753	295,152	13,600
	外国証券	205,436	200,032	5,403
	その他	103,317	95,120	8,197
	小計	2,068,177	1,941,066	127,111
	連結貸借対照表計上額 が取得原価を超えない もの	株式	54,575	61,558
債券		29,396	29,513	△117
国債		14,036	14,130	△94
地方債		11,296	11,299	△3
社債		4,063	4,083	△20
その他		103,270	112,149	△8,879
外国証券		21,390	21,489	△99
その他		81,879	90,659	△8,779
小計		187,241	203,221	△15,979
合計			2,255,419	2,144,287

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

	種類	中間連結貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間連結貸借対照表計 上額が取得原価を超え るもの	株式	159,304	88,975	70,328
	債券	1,410,256	1,373,917	36,339
	国債	930,388	905,451	24,937
	地方債	313,248	306,269	6,979
	社債	166,618	162,196	4,422
	その他	437,162	420,610	16,552
	外国証券	307,771	299,511	8,259
	その他	129,391	121,099	8,292
	小計	2,006,723	1,883,503	123,220
中間連結貸借対照表計 上額が取得原価を超え ないもの	株式	47,129	53,531	△6,401
	債券	38,866	38,984	△117
	国債	24,071	24,121	△50
	地方債	5,240	5,243	△2
	社債	9,553	9,618	△64
	その他	204,399	215,960	△11,561
	外国証券	40,850	40,970	△119
	その他	163,549	174,990	△11,441
	小計	290,395	308,476	△18,080
	合計	2,297,119	2,191,979	105,140

### 3. 減損処理を行った有価証券

売買目的有価証券以外の有価証券(時価を把握することが極めて困難なものを除く)のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)とするとともに、評価差額を当中間連結会計期間(連結会計年度)の損失として処理(以下「減損処理」という)しております。

前連結会計年度における減損処理額は、642百万円(全額株式)であります。

当中間連結会計期間における減損処理額は、113百万円(株式14百万円、その他98百万円)であります。

また、「減損処理」は、資産の自己査定における有価証券の発行会社の区分ごとに次のとおり実施しております。

破綻先、実質破綻先、 破綻懸念先、要注意先	株式は時価が取得原価に比べ下落、債券は時価が取得原価に比べ30%超下落
正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

なお、要注意先とは今後管理に注意を要する債務者であり、正常先とは、破綻先、実質破綻先、破綻懸念先及び要注意先以外の債務者であります。

(表示方法の変更)

有価証券の種類中、「その他」は、「外国証券」の金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より「外国証券」と「その他」に区分掲記しております。

(金銭の信託関係)

1. 満期保有目的の金銭の信託  
該当事項はありません。

2. その他の金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)  
該当事項はありません。

(その他有価証券評価差額金)

中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

前連結会計年度(平成28年3月31日)

	金額(百万円)
評価差額	111,131
その他有価証券	111,131
その他の金銭の信託	—
(+) 繰延税金資産(又は(△)繰延税金負債)	△27,291
その他有価証券評価差額金(持分相当額調整前)	83,839
(△) 非支配株主持分相当額	93
(+) 持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	88
その他有価証券評価差額金	83,834

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

	金額(百万円)
評価差額	105,140
その他有価証券	105,140
その他の金銭の信託	—
(+) 繰延税金資産(又は(△)繰延税金負債)	△26,201
その他有価証券評価差額金(持分相当額調整前)	78,938
(△) 非支配株主持分相当額	91
(+) 持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	88
その他有価証券評価差額金	78,936

(ストック・オプション等関係)

1. スtock・オプションに係る費用計上額及び科目名

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
営業経費	110	124

2. スtock・オプションの内容

前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)

	第4回新株予約権
付与対象者の区分及び人数	当社取締役7名、株式会社北陸銀行取締役5名・執行役員13名、株式会社北海道銀行取締役6名・執行役員11名。ただし、当社取締役のうち6名は北陸銀行又は北海道銀行の取締役又は執行役員を兼務しているため、合計36名
株式の種類別のストック・オプションの数(注)	当社普通株式 417,300株
付与日	平成27年 7月14日
権利確定条件	定めがありません。
対象勤務期間	定めがありません。
権利行使期間	平成27年 7月15日から平成57年 7月14日まで
権利行使価格	1円
付与日における公正な評価単価	265円

(注) 株式数に換算して記載しております。

当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)

	第5回新株予約権
付与対象者の区分及び人数	当社取締役7名、株式会社北陸銀行取締役6名・執行役員13名、株式会社北海道銀行取締役6名・執行役員12名。ただし、当社取締役のうち7名は北陸銀行又は北海道銀行の取締役を兼務しているため、合計37名
株式の種類別のストック・オプションの数(注)	当社普通株式 1,062,000株
付与日	平成28年 8月12日
権利確定条件	定めがありません。
対象勤務期間	定めがありません。
権利行使期間	平成28年 8月13日から平成58年 8月12日まで
権利行使価格	1円
付与日における公正な評価単価	117円

(注) 株式数に換算して記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会や経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、銀行持株会社である当社を中心に、銀行業を核とした総合的な金融サービスを提供しております。

当社は、連結子会社単位を事業セグメントとして認識し、「北陸銀行」及び「北海道銀行」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。事業セグメントの利益は中間純利益であります。セグメント間の内部経常収益は、外部顧客に対する経常収益と同一の決定方法による取引価格に基づいた金額であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	45,861	44,795	90,656	8,475	99,131	8	99,139
セグメント間の内部経常収益	484	669	1,154	2,290	3,444	△3,444	—
計	46,345	45,465	91,810	10,765	102,576	△3,436	99,139
セグメント利益	8,263	9,606	17,870	557	18,428	△1,766	16,661
セグメント資産	6,658,753	5,001,646	11,660,400	81,428	11,741,828	△31,458	11,710,369
セグメント負債	6,329,547	4,795,933	11,125,481	65,238	11,190,719	△50,292	11,140,427
その他の項目							
減価償却費	2,217	1,667	3,885	134	4,020	4	4,024
のれんの償却額	—	—	—	—	—	1,051	1,051
資金運用収益	33,960	31,089	65,050	190	65,240	△826	64,413
資金調達費用	2,303	1,159	3,462	228	3,690	△216	3,473
持分法投資利益	—	—	—	—	—	8	8
特別利益	—	66	66	—	66	—	66
固定資産処分益	—	4	4	—	4	—	4
退職給付信託設定益	—	62	62	—	62	—	62
特別損失	571	171	742	—	742	48	791
固定資産処分損	127	110	237	—	237	34	271
減損損失	444	61	505	—	505	13	519
税金費用	4,088	4,261	8,349	353	8,703	△4	8,698
持分法適用会社への投資額	—	29	29	92	122	130	252
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,156	432	1,589	102	1,691	△0	1,691

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、リース業・クレジットカード業等を営む、銀行以外の連結子会社であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額8百万円は、事業セグメントに配分していない経常収益及びパーチェス法による経常収益調整額であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△1,766百万円には、セグメント間取引消去△596百万円、のれん償却額△1,051百万円、パーチェス法による利益調整額△59百万円、持分法投資利益8百万円、非支配株主に帰属する中間純利益△69百万円及び事業セグメントに配分していない費用0百万円が含まれております。
  - (3) セグメント資産の調整額△31,458百万円は、セグメントに配分していない資産の額及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (4) セグメント負債の調整額△50,292百万円は、セグメントに配分していない負債の額及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (5) 減価償却費の調整額4百万円は、セグメントに配分していない減価償却費及び連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であります。
  - (6) のれんの償却額の調整額1,051百万円は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんの償却額であります。
  - (7) 資金運用収益の調整額△826百万円は、セグメントに配分していない資金運用収益及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (8) 資金調達費用の調整額△216百万円は、セグメントに配分していない資金調達費用及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (9) 持分法投資利益の調整額8百万円は、持分法投資利益全額であります。
  - (10) 固定資産処分損の調整額34百万円は、パーチェス法による調整額であります。
  - (11) 減損損失の調整額13百万円は、パーチェス法による調整額であります。
  - (12) 税金費用の調整額△4百万円は、セグメントに配分していない税金費用及び連結上の法人税等調整額であります。

- (13) 持分法適用会社への投資額の調整額130百万円は、セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額及び持分法投資損益額であります。
- (14) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△0百万円は、連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る投資額及びセグメントに配分していない有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	45,435	39,886	85,321	8,780	94,102	△141	93,960
セグメント間の内部経常収益	442	670	1,113	2,220	3,333	△3,333	—
計	45,877	40,557	86,434	11,000	97,435	△3,474	93,960
セグメント利益	10,748	6,502	17,250	1,287	18,537	△1,769	16,768
セグメント資産	7,026,769	4,876,277	11,903,046	81,030	11,984,077	△41,721	11,942,355
セグメント負債	6,687,552	4,667,294	11,354,847	62,980	11,417,827	△44,745	11,373,081
その他の項目							
減価償却費	1,639	1,162	2,802	120	2,923	△7	2,915
のれんの償却額	—	—	—	—	—	1,051	1,051
資金運用収益	33,771	28,875	62,647	177	62,824	△821	62,003
資金調達費用	2,202	481	2,683	230	2,914	△210	2,703
持分法投資利益	—	—	—	—	—	7	7
特別利益	32	0	32	—	32	—	32
固定資産処分益	32	0	32	—	32	—	32
退職給付信託設定益	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	189	137	326	—	326	—	326
固定資産処分損	57	25	82	—	82	—	82
減損損失	132	111	243	—	243	—	243
税金費用	3,616	2,587	6,204	408	6,612	△26	6,586
持分法適用会社への投資額	—	29	29	92	122	112	235
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,411	764	2,175	54	2,230	8	2,238

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、リース業・クレジットカード業等を営む、銀行以外の連結子会社であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△141百万円は、連結に伴う勘定科目の組替による調整額、事業セグメントに配分していない経常収益及びパーチェス法による経常収益調整額であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△1,769百万円には、セグメント間取引消去△601百万円、のれん償却額△1,051百万円、パーチェス法による利益調整額△60百万円、持分法投資利益7百万円、非支配株主に帰属する中間純利益△60百万円及び事業セグメントに配分していない費用△3百万円が含まれております。
  - (3) セグメント資産の調整額△41,721百万円は、セグメントに配分していない資産の額及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (4) セグメント負債の調整額△44,745百万円は、セグメントに配分していない負債の額及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (5) 減価償却費の調整額△7百万円は、セグメントに配分していない減価償却費及び連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であります。
  - (6) のれんの償却額の調整額1,051百万円は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんの償却額であります。
  - (7) 資金運用収益の調整額△821百万円は、セグメントに配分していない資金運用収益及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (8) 資金調達費用の調整額△210百万円は、セグメントに配分していない資金調達費用及びセグメント間相殺消去額であります。
  - (9) 持分法投資利益の調整額7百万円は、持分法投資利益全額であります。
  - (10) 税金費用の調整額△26百万円は、セグメントに配分していない税金費用及び連結上の法人税等調整額であります。
  - (11) 持分法適用会社への投資額の調整額112百万円は、セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額及び持分法投資損益額であります。
  - (12) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額8百万円は、連結上「その他の有形固定資産」となるリース投資資産に係る投資額及びセグメントに配分していない有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。

【関連情報】

前中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. サービスごとの情報

(単位: 百万円)

	預金貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	55,255	22,247	21,637	99,139

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当社グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. サービスごとの情報

(単位: 百万円)

	預金貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	54,022	19,285	20,652	93,960

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当社グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの未償却残高に関する情報】

前中間連結会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
未償却残高	—	—	—	—	—	18,745	18,745

(注) 調整額は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんであります。

当中間連結会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	北陸銀行	北海道銀行	計				
未償却残高	—	—	—	—	—	16,642	16,642

(注) 調整額は、北海道銀行の経営統合時に発生した連結上ののれんであります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1株当たり純資産額	3,806円14銭	3,914円56銭

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施いたしました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

2. 1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎

		前中間連結会計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
(1) 1株当たり中間純利益金額	円	118.33	120.35
(算定上の基礎)			
親会社株主に帰属する中間純利益金額	百万円	16,661	16,768
普通株主に帰属しない金額	百万円	805	805
うち中間優先配当額	百万円	805	805
普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益金額	百万円	15,855	15,962
普通株式の期中平均株式数	千株	133,990	132,626
(2) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額	円	118.18	120.19
(算定上の基礎)			
親会社株主に帰属する中間純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	163	182
うち新株予約権	千株	163	182
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 中間純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		—	—

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施いたしました。1株当たり中間純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 中間財務諸表(個別)

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	210	279
有価証券	7,000	3,200
前払費用	2	5
未収収益	112	112
未収還付法人税等	1,620	163
その他	4	-
流動資産合計	8,949	3,760
固定資産		
有形固定資産	0	2
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	261,130	261,180
関係会社株式	227,870	227,870
関係会社長期貸付金	33,000	33,000
その他	260	310
固定資産合計	261,131	261,182
資産合計	270,081	264,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	-	4,000
未払配当金	79	90
未払費用	117	127
未払法人税等	12	13
預り金	4	4
その他	10	13
流動負債合計	224	4,249
固定負債		
社債	33,000	33,000
役員退職慰労引当金	29	29
固定負債合計	33,029	33,029
負債合計	33,253	37,278

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	70,895	70,895
資本剰余金		
資本準備金	82,034	82,034
その他資本剰余金	55,075	51,448
資本剰余金合計	137,110	133,483
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	29,956	24,260
利益剰余金合計	29,956	24,260
自己株式	△1,454	△1,358
株主資本合計	236,507	227,280
新株予約権	319	384
純資産合計	236,827	227,664
負債純資産合計	270,081	264,943

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業収益	1,132	1,177
営業費用	296	339
営業利益	836	838
営業外収益	*1 232	*1 168
営業外費用	*2 258	*2 198
経常利益	810	807
税引前中間純利益	810	807
法人税、住民税及び事業税	0	2
法人税等合計	0	2
中間純利益	809	805

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	70,895	82,034	55,061	137,096	29,325	29,325
当中間期変動額						
剰余金の配当					△6,500	△6,500
中間純利益					809	809
自己株式の取得						
自己株式の処分			14	14		
自己株式の消却						
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	—	—	14	14	△5,690	△5,690
当中間期末残高	70,895	82,034	55,075	137,110	23,634	23,634

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△1,479	235,836	266	236,103
当中間期変動額				
剰余金の配当		△6,500		△6,500
中間純利益		809		809
自己株式の取得	△14	△14		△14
自己株式の処分	43	58		58
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			53	53
当中間期変動額合計	29	△5,646	53	△5,593
当中間期末残高	△1,449	230,189	319	230,509

当中間会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	70,895	82,034	55,075	137,110	29,956	29,956
当中間期変動額						
剰余金の配当					△6,501	△6,501
中間純利益					805	805
自己株式の取得						
自己株式の処分			19	19		
自己株式の消却			△3,647	△3,647		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	—	—	△3,627	△3,627	△5,695	△5,695
当中間期末残高	70,895	82,034	51,448	133,483	24,260	24,260

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△1,454	236,507	319	236,827
当中間期変動額				
剰余金の配当		△6,501		△6,501
中間純利益		805		805
自己株式の取得	△3,591	△3,591		△3,591
自己株式の処分	40	60		60
自己株式の消却	3,647	—		—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			64	64
当中間期変動額合計	96	△9,227	64	△9,162
当中間期末残高	△1,358	227,280	384	227,664

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記(個別))

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券

移動平均法による償却原価法により行っております。

(2) 関係会社株式

移動平均法による原価法により行っております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

有形固定資産は定率法を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

器具及び備品：4年～10年

(2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により償却しております。

3. 繰延資産の処理方法

社債発行費は、支出時に全額費用処理しております。

4. 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金

役員退職慰労金制度については、平成24年5月11日開催の取締役会で廃止することを決定し、平成24年6月26日開催の定時株主総会にて、役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給が承認されております。これに伴い、役員退職慰労引当金の繰入は平成24年6月の繰入をもって停止し、既引当金については継続して役員退職慰労引当金として計上しております。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当中間会計期間から適用しております。

(中間損益計算書関係)

※1. 営業外収益のうち主要なもの

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
関係会社貸付金利息	217百万円	154百万円

※2. 営業外費用のうち主要なもの

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
事務委託費	40百万円	40百万円
社債利息	217百万円	154百万円

3. 減価償却実施額

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
有形固定資産	0百万円	0百万円
無形固定資産	一百万円	0百万円

(有価証券関係)

子会社株式及び関連会社株式(当中間会計期間の中間貸借対照表計上額及び前事業年度の貸借対照表計上額子会社株式227,857百万円、関連会社株式13百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

株式会社北陸銀行の個別業績の概要

平成28年11月11日

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 庵 栄伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 小林 正彦 TEL (076) 423-7111  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	45,877	△1.0	14,521	12.4	10,748	30.1
28年3月期中間期	46,345	△3.6	12,923	3.2	8,263	5.4

	1株当たり 中間純利益	
	円	銭
29年3月期中間期	10	26
28年3月期中間期	7	88

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
29年3月期中間期	7,026,769	339,216	4.8
28年3月期	6,880,493	332,930	4.8

(参考) 自己資本 29年3月期中間期 339,216百万円 28年3月期 332,930百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

個別財務諸表  
(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
現金預け金	892,747	915,065
コールローン	65,016	84,375
買入金銭債権	62,034	58,402
特定取引資産	2,206	2,147
有価証券	1,343,914	1,384,246
貸出金	4,383,442	4,446,042
外国為替	8,850	8,594
その他資産	23,754	28,908
その他の資産	23,754	28,908
有形固定資産	77,219	76,856
無形固定資産	3,278	3,173
前払年金費用	1,897	2,336
支払承諾見返	35,074	34,344
貸倒引当金	△18,944	△17,721
資産の部合計	6,880,493	7,026,769
負債の部		
預金	5,911,370	5,925,395
譲渡性預金	206,301	181,257
コールマネー	20,845	33,145
債券貸借取引受入担保金	92,954	223,126
特定取引負債	1,129	1,068
借入金	200,758	202,339
外国為替	175	53
その他負債	55,431	64,583
未払法人税等	3,855	3,362
リース債務	838	673
資産除去債務	170	171
その他の負債	50,566	60,376
退職給付引当金	1,924	1,658
役員退職慰労引当金	57	57
偶発損失引当金	1,393	884
睡眠預金払戻損失引当金	965	1,074
繰延税金負債	13,456	12,870
再評価に係る繰延税金負債	5,724	5,692
支払承諾	35,074	34,344
負債の部合計	6,547,563	6,687,552
純資産の部		
資本金	140,409	140,409
資本剰余金	14,998	14,998
資本準備金	14,998	14,998
利益剰余金	100,974	111,795
利益準備金	10,466	10,466
その他利益剰余金	90,508	101,329
繰越利益剰余金	90,508	101,329
株主資本合計	256,383	267,204
その他有価証券評価差額金	69,064	64,686
繰延ヘッジ損益	△1,596	△1,680
土地再評価差額金	9,079	9,006
評価・換算差額等合計	76,547	72,012
純資産の部合計	332,930	339,216
負債及び純資産の部合計	6,880,493	7,026,769

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
経常収益	46,345	45,877
資金運用収益	33,960	33,771
(うち貸出金利息)	26,259	24,737
(うち有価証券利息配当金)	6,648	7,978
役務取引等収益	9,040	8,204
特定取引収益	85	52
その他業務収益	931	686
その他経常収益	2,327	3,163
経常費用	33,422	31,356
資金調達費用	2,303	2,202
(うち預金利息)	1,029	644
役務取引等費用	3,599	3,438
その他業務費用	—	0
営業経費	25,714	24,818
その他経常費用	1,804	897
経常利益	12,923	14,521
特別利益	—	32
特別損失	571	189
税引前中間純利益	12,351	14,364
法人税、住民税及び事業税	3,771	3,268
法人税等調整額	317	347
法人税等合計	4,088	3,616
中間純利益	8,263	10,748

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	140,409	14,998	14,998	9,523	79,936	89,459	244,868
当中間期変動額							
中間純利益					8,263	8,263	8,263
土地再評価差額金の取崩					△288	△288	△288
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	—	7,975	7,975	7,975
当中間期末残高	140,409	14,998	14,998	9,523	87,911	97,434	252,843

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	73,340	△845	8,502	80,997	325,865
当中間期変動額					
中間純利益					8,263
土地再評価差額金の取崩					△288
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)	△4,517	△405	288	△4,634	△4,634
当中間期変動額合計	△4,517	△405	288	△4,634	3,340
当中間期末残高	68,822	△1,250	8,790	76,362	329,206

当中間会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	140,409	14,998	14,998	10,466	90,508	100,974	256,383
当中間期変動額							
中間純利益					10,748	10,748	10,748
土地再評価差額金の取崩					72	72	72
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	—	10,821	10,821	10,821
当中間期末残高	140,409	14,998	14,998	10,466	101,329	111,795	267,204

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	69,064	△1,596	9,079	76,547	332,930
当中間期変動額					
中間純利益					10,748
土地再評価差額金の取崩					72
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)	△4,378	△83	△72	△4,534	△4,534
当中間期変動額合計	△4,378	△83	△72	△4,534	6,286
当中間期末残高	64,686	△1,680	9,006	72,012	339,216

## 株式会社北海道銀行の個別業績の概要

平成28年11月11日

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 笹原 晶博  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 疋田 一品 TEL (011) 233-1005

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期中間期	40,557	△10.8	9,227	△34.0	6,502	△32.3
28年3月期中間期	45,465	9.2	13,973	41.6	9,606	36.3

	1株当たり 中間純利益	
	円	銭
29年3月期中間期	11	70
28年3月期中間期	18	08

#### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
29年3月期中間期	4,876,277	208,982	4.2
28年3月期	4,701,456	203,799	4.3

(参考) 自己資本 29年3月期中間期 208,982百万円 28年3月期 203,799百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

個別財務諸表  
(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当中間会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	342,340	460,368
商品有価証券	2,424	2,643
金銭の信託	8,344	9,027
有価証券	1,051,981	1,068,019
貸出金	3,216,184	3,254,376
外国為替	5,920	5,909
その他資産	39,630	39,143
その他の資産	39,630	39,143
有形固定資産	29,144	28,875
無形固定資産	2,742	2,487
繰延税金資産	7,084	6,100
支払承諾見返	22,955	26,256
貸倒引当金	△27,298	△26,930
資産の部合計	4,701,456	4,876,277
<b>負債の部</b>		
預金	4,332,822	4,371,326
譲渡性預金	52,107	48,706
債券貸借取引受入担保金	—	118,015
借入金	37,704	49,226
外国為替	51	685
その他負債	42,801	44,147
未払法人税等	2,134	1,231
リース債務	466	390
資産除去債務	69	70
その他の負債	40,131	42,455
退職給付引当金	8,092	7,772
役員退職慰労引当金	104	104
偶発損失引当金	563	641
睡眠預金払戻損失引当金	454	410
支払承諾	22,955	26,256
負債の部合計	4,497,657	4,667,294
<b>純資産の部</b>		
資本金	93,524	93,524
資本剰余金	16,795	16,795
資本準備金	16,795	16,795
利益剰余金	74,838	80,535
利益準備金	7,648	7,809
その他利益剰余金	67,189	72,725
繰越利益剰余金	67,189	72,725
株主資本合計	185,157	190,854
その他有価証券評価差額金	18,641	18,128
評価・換算差額等合計	18,641	18,128
純資産の部合計	203,799	208,982
負債及び純資産の部合計	4,701,456	4,876,277

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
経常収益	45,465	40,557
資金運用収益	31,089	28,875
(うち貸出金利息)	23,061	22,148
(うち有価証券利息配当金)	7,783	6,520
役務取引等収益	8,874	8,818
その他業務収益	697	295
その他経常収益	4,804	2,566
経常費用	31,491	31,329
資金調達費用	1,159	481
(うち預金利息)	703	295
役務取引等費用	4,121	4,232
その他業務費用	—	664
営業経費	21,281	21,534
その他経常費用	4,929	4,416
経常利益	13,973	9,227
特別利益	66	0
特別損失	171	137
税引前中間純利益	13,868	9,089
法人税、住民税及び事業税	3,127	1,448
法人税等調整額	1,134	1,139
法人税等合計	4,261	2,587
中間純利益	9,606	6,502

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	93,524	16,795	16,795	7,005	57,608	64,613	174,932
当中間期変動額							
剰余金の配当				161	△966	△805	△805
中間純利益					9,606	9,606	9,606
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	161	8,639	8,801	8,801
当中間期末残高	93,524	16,795	16,795	7,166	66,248	73,414	183,733

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	31,525	31,525	206,457
当中間期変動額			
剰余金の配当			△805
中間純利益			9,606
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)	△9,546	△9,546	△9,546
当中間期変動額合計	△9,546	△9,546	△745
当中間期末残高	21,978	21,978	205,712

当中間会計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
当期首残高	93,524	16,795	16,795	7,648	67,189	74,838	185,157
当中間期変動額							
剰余金の配当				161	△966	△805	△805
中間純利益					6,502	6,502	6,502
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	161	5,535	5,696	5,696
当中間期末残高	93,524	16,795	16,795	7,809	72,725	80,535	190,854

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	18,641	18,641	203,799
当中間期変動額			
剰余金の配当			△805
中間純利益			6,502
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)	△513	△513	△513
当中間期変動額合計	△513	△513	5,183
当中間期末残高	18,128	18,128	208,982

# 平成28年度 中間決算説明資料



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

# I. 平成28年度中間決算ハイライト

## 1. 損益の状況

【FG連結】 ■親会社株主に帰属する中間純利益 167億円 前中間期比+1億円

【2行合算】 ■中間純利益 172億円 前中間期比△6億円

- ・コア業務粗利益は、資金利益が貸出金利息の減少を主因に前中間期を下回り、加えて投資信託・保険販売手数料の減少を主因に役務取引等利益も減少したことから、前中間期比34億円減少の694億円となりました。一方で、物件費を中心に経費が減少したことから、コア業務純益は同27億円の減少にとどまり、248億円となりました。
- ・経常利益は、与信費用が減少したものの、株式等損益が減少したこと等により、前中間期比31億円減少の237億円となりました。中間純利益は、法人税等が減少したことから、同6億円の減少にとどまり、172億円となりました。

	業績予想	28年度 中間期		27年度 中間期
		前中間期比	増減率	
経常収益	【933】	939	△ 51 △5.2%	991
経常利益	【237】	237	△ 24 △9.3%	261
親会社株主に帰属する中間純利益	【167】	167	1 0.6%	166

※中間の業績予想は10月24日に修正しております。

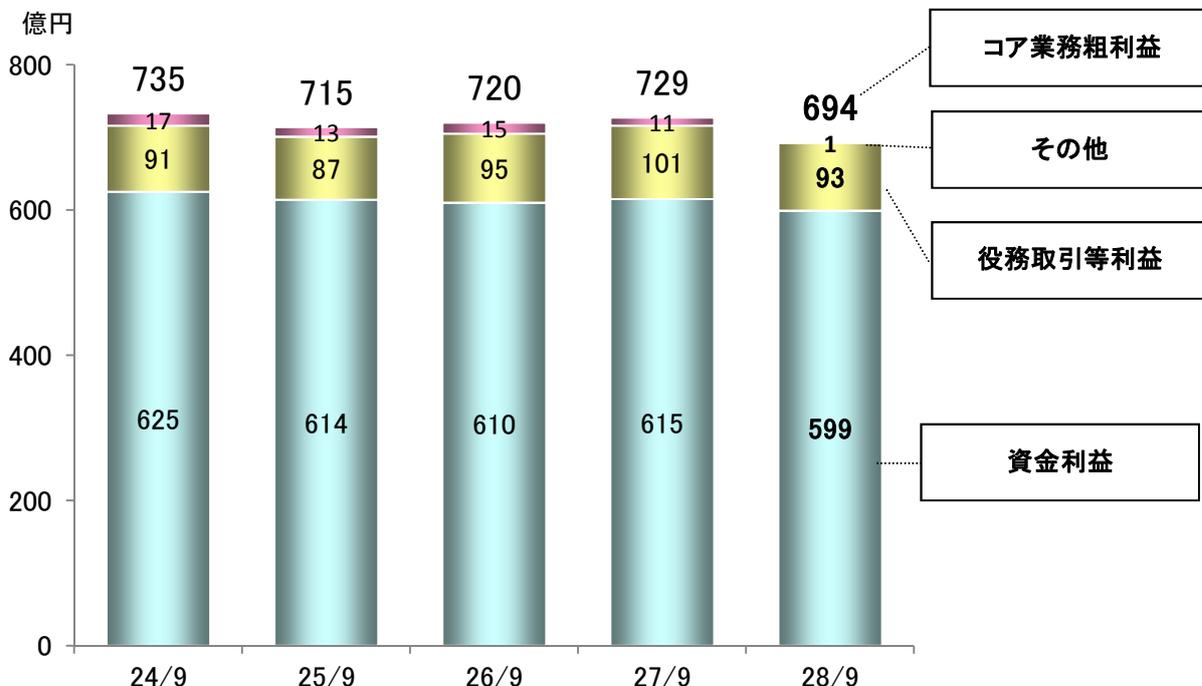
	28年度 中間期		27年度 中間期
	前中間期比	増減率	
経常収益	864	△ 53 △5.9%	918
コア業務粗利益	694	△ 34 △4.7%	729
資金利益	599	△ 16	615
国内業務部門	577	△ 20	598
国際業務部門	21	4	17
役務取引等利益	93	△ 8	101
特定取引利益	0	△ 0	0
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	0	△ 9	10
うち外国為替売買益	0	△ 5	5
うち金融派生商品収益	0	△ 4	4
経費(臨時処理分を除く)(△)	445	△ 7	453
うち人件費	218	△ 1	219
うち物件費	195	△ 9	204
コア業務純益	248	△ 27 △9.8%	275
国債等債券損益	2	△ 3	5
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	250	△ 30 △10.9%	281
一般貸倒引当金繰入(△)①	—	△ 3	3
業務純益	250	△ 27	278
臨時損益	△ 13	△ 3	△ 9
うち不良債権処理額(△)②	△ 11	△ 25	13
(参考)与信費用(△)①+②	△ 11	△ 28	16
うち株式等損益	△ 14	△ 27	12
経常利益	237	△ 31 △11.7%	268
特別損益	△ 2	3	△ 6
法人税等(△)	62	△ 21	83
うち法人税等調整額(△)	14	0	14
中間純利益	172	△ 6 △3.5%	178

【2行合算】

(1) コア業務粗利益

<b>コア業務粗利益</b>	<b>694 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△34 億円</b>
資金利益	599 億円	前中間期比	△16 億円… 貸出金利息の減少
役務取引等利益	93 億円	前中間期比	△8 億円… 投資信託・保険販売手数料の減少
その他	1 億円	前中間期比	△9 億円… 外為売買益、金融派生商品収益の減少

《コア業務粗利益の推移》



《資金利益の増減要因》

(億円)

	28年度 中間期			増減			要因分析		27年度 中間期		
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残要因	利回要因	平残	利回	利息
国内部門			577			△20					598
貸出金	75,643	1.22%	465	818	△0.09%	△25	5	△30	74,824	1.31%	491
有価証券	20,419	1.14%	117	△1,158	△0.01%	△7	△6	△0	21,578	1.15%	124
預金・NCD	105,204	0.01%	8	△937	△0.02%	△10	△0	△10	106,142	0.03%	18
国際部門			21			4					17
資金利益			599			△16					615

《役務取引等利益の増減要因》

(億円)

	28年度 中間期		27年度 中間期
	増減	増減	
役務取引等収益	170	△8	179
うち為替手数料	53	△0	54
うち投資信託手数料	18	△6	24
うち保険手数料	12	△7	20
役務取引等費用	76	△0	77
うち為替手数料	9	△0	9
うちローン保険料・保証料	48	△0	49
役務取引等利益	93	△8	101

《その他の増減要因》

(億円)

	28年度 中間期		27年度 中間期
	増減	増減	
①特定取引利益	0	△0	0
②その他業務利益※	0	△9	10
うち外国為替売買益	0	△5	5
うち金融派生商品収益	0	△4	4
その他(①+②)	1	△9	11

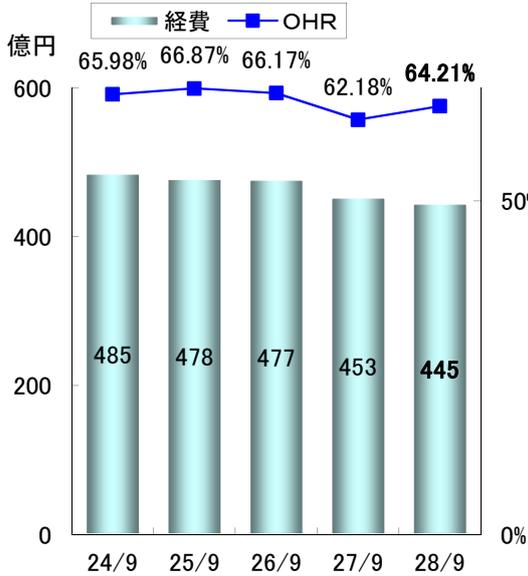
※国債等債券損益を除く

【2行合算】

(2) 経費・コア業務純益

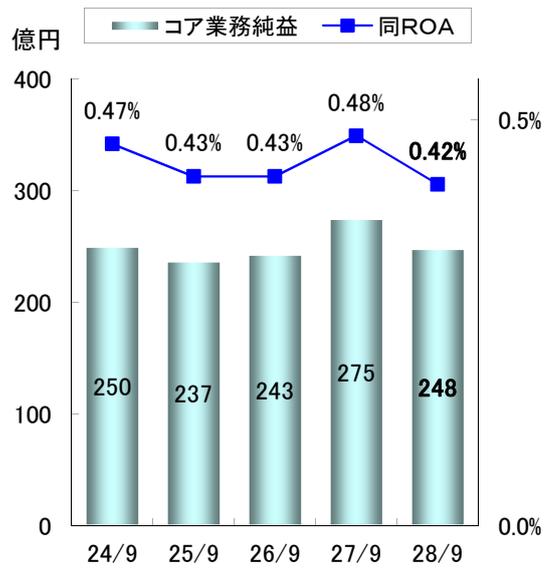
<b>経費</b>	<b>445 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△7 億円</b>	
・ 人件費	218 億円	前中間期比	△1 億円	・・・時間外手当の減少
・ 物件費	195 億円	前中間期比	△9 億円	・・・減価償却費の減少
・ 税金	32 億円	前中間期比	+3 億円	
<b>コア業務純益</b>	<b>248 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△27 億円</b>	

《経費・OHRの推移》



OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

《コア業務純益・ROAの推移》



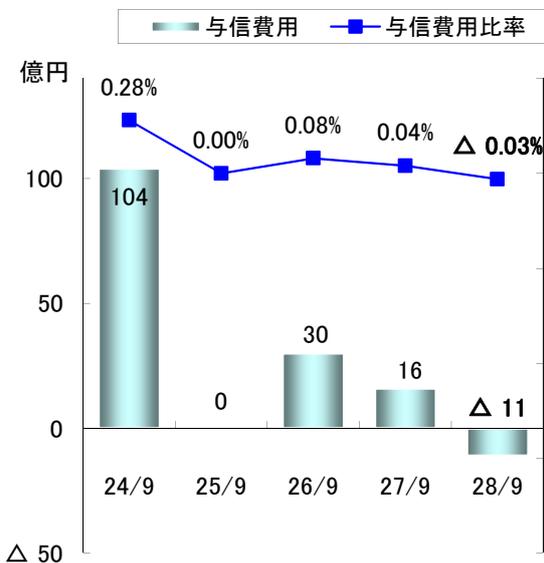
ROA = コア業務純益 ÷ 総資産平残

(3) 与信費用・経常利益・中間純利益

<b>与信費用</b>	<b>△11 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△28 億円</b>
<b>経常利益</b>	<b>237 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△31 億円</b>
<b>中間純利益</b>	<b>172 億円</b>	<b>前中間期比</b>	<b>△6 億円</b>

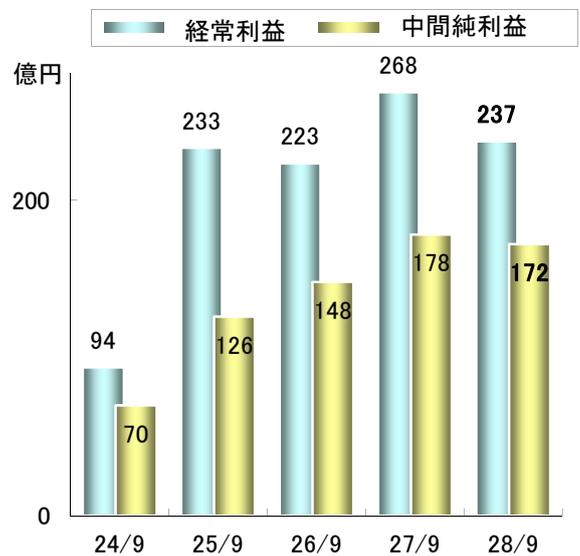
・ 与信費用は、11億円の戻し入れとなり、前中間期比28億円減少。

《与信費用の推移》



与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金平残

《経常利益・中間純利益の推移》



【北陸銀行・北海道銀行】

損益の状況

【北陸銀行】

経常収益	458 億円	(前中間期比)	△4 億円
コア業務粗利益	368 億円	(前中間期比)	△9 億円
コア業務純益	129 億円	(前中間期比)	△5 億円

- ・コア業務粗利益は、貸出金利息および役務取引等利益の減少により、前中間期比9億円減少の368億円となりました。
- ・コア業務純益は、経費の減少もあり、前中間期比5億円減少の129億円となりました。

経常利益	145 億円	(前中間期比)	+15 億円
------	--------	---------	--------

- ・経常利益は、株式等損益が減少しましたが、与信コストが減少したことから、前中間期比15億円増加の145億円となりました。

中間純利益	107 億円	(前中間期比)	+24 億円
-------	--------	---------	--------

- ・中間純利益は、前中間期比24億円増加の107億円となりました。

【北海道銀行】

経常収益	405 億円	(前中間期比)	△49 億円
コア業務粗利益	325 億円	(前中間期比)	△24 億円
コア業務純益	118 億円	(前中間期比)	△21 億円

- ・コア業務粗利益は、貸出金利息および有価証券利息配当金の減少により、前中間期比24億円減少の325億円となりました。
- ・コア業務純益は、経費の減少もあり、前中間期比21億円減少の118億円となりました。

経常利益	92 億円	(前中間期比)	△47 億円
------	-------	---------	--------

- ・経常利益は、与信費用が減少しましたが、株式等損益が減少したことから、前中間期比47億円減少の92億円となりました。

中間純利益	65 億円	(前中間期比)	△31 億円
-------	-------	---------	--------

- ・中間純利益は、前中間期比31億円減少の65億円となりました。

(億円)

	北陸銀行			北海道銀行			27年度 中間期	
	28年度 中間期	27年度 中間期		28年度 中間期	27年度 中間期			
		前中間期比	増減率		前中間期比	増減率		
経常収益	458	△4	△1.0%	463	405	△49	△10.8%	454
コア業務粗利益	368	△9	△2.6%	378	325	△24	△7.1%	350
資金利益	315	△0		316	283	△15		299
国内業務部門	304	△2		307	272	△18		291
国際業務部門	10	1		9	11	3		8
役務取引等利益	47	△6		54	45	△1		47
特定取引利益	0	△0		0	—	—		—
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	4	△1		6	△3	△7		3
うち外国為替売買益	4	△0		4	△4	△5		1
うち金融派生商品収益	0	△1		1	△0	△2		2
経費(臨時処理分を除く)(△)	238	△4		243	207	△2		210
うち人件費	124	△0		125	93	△0		94
うち物件費	97	△5		103	97	△3		101
コア業務純益	129	△5	△3.8%	134	118	△21	△15.6%	140
国債等債券損益	2	△0		2	0	△2		3
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	131	△5		137	118	△24		143
一般貸倒引当金繰入(△)①	—	△1		1	—	△1		1
業務純益	131	△4		136	118	△23		142
臨時損益	13	20		△6	△26	△23		△2
うち不良債権処理額(△)②	△10	△18		7	△0	△6		6
(参考)与信費用(△)①+②	△10	△19		8	△0	△8		7
うち株式等損益	3	△3		7	△18	△23		5
経常利益	145	15	12.4%	129	92	△47	△34.0%	139
特別損益	△1	4		△5	△1	△0		△1
法人税等(△)	36	△4		40	25	△16		42
うち法人税等調整額(△)	3	0		3	11	0		11
中間純利益	107	24	30.1%	82	65	△31	△32.3%	96

## 2. 主要勘定

### (1) 貸出金

**2行合算 7兆7,004億円 前中間期末比 +1,811億円**

**北陸銀行 4兆4,460億円 前中間期末比 +1,130億円**

・個人ローンが減少しましたが、事業性貸出や地方公共団体等向け貸出が増加し、貸出金は前中間期末比1,130億円増加の4兆4,460億円となりました。

**北海道銀行 3兆2,543億円 前中間期末比 +680億円**

・事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出とも増加し、貸出金は前中間期末比680億円増加の3兆2,543億円となりました。

#### 【2行合算】

(億円)

		28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比	27年9月末比			
貸出金	A	77,004	1,007	(+2.40%) 1,811	75,996	75,192
うち中小企業等貸出	B	48,988	538	(+2.79%) 1,330	48,450	47,657
うち個人ローン	C	21,810	250	(+1.03%) 224	21,560	21,586
うち住宅系ローン		20,412	195	134	20,216	20,278
中小企業等向け貸出比率	B÷A	63.61%	△ 0.14%	0.23%	63.75%	63.38%
個人ローン比率	C÷A	28.32%	△ 0.05%	△0.38%	28.37%	28.70%

#### 【北陸銀行】

(億円)

		28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比	27年9月末比			
貸出金	A	44,460	625	(+2.60%) 1,130	43,834	43,329
うち中小企業等貸出	B	29,380	198	(+2.69%) 772	29,181	28,608
うち個人ローン	C	11,698	22	(△0.55%) △65	11,676	11,763
うち住宅系ローン		11,093	5	△92	11,087	11,185
中小企業等向け貸出比率	B÷A	66.08%	△ 0.49%	0.06%	66.57%	66.02%
個人ローン比率	C÷A	26.31%	△ 0.32%	△0.83%	26.63%	27.14%

#### 【北海道銀行】

(億円)

		28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比	27年9月末比			
貸出金	A	32,543	381	(+2.13%) 680	32,161	31,863
うち中小企業等貸出	B	19,608	339	(+2.93%) 558	19,268	19,049
うち個人ローン	C	10,112	228	(+2.94%) 289	9,884	9,822
うち住宅系ローン		9,319	189	226	9,129	9,092
中小企業等向け貸出比率	B÷A	60.25%	0.34%	0.47%	59.91%	59.78%
個人ローン比率	C÷A	31.07%	0.34%	0.25%	30.73%	30.82%

(2) 預金

**2行合算 10兆5,266億円 前中間期末比 Δ1,090億円**

**北陸銀行 6兆1,066億円 前中間期末比 +999億円**

- ・ 個人預金・法人預金とも順調に増加し、前中間期末比999億円増加の6兆1,066億円となりました。
- ・ 個人預かり資産は、投資型金融商品は減少しましたが、預金の増加により、前中間期末比52億円増加の4兆2,799億円となりました。

**北海道銀行 4兆4,200億円 前中間期末比 Δ2,089億円**

- ・ 個人預金・法人預金が増加したものの、譲渡性預金の減少を主因に前中間期末比2,089億円減少の4兆4,200億円となりました。
- ・ 個人預かり資産は、預金は増加しましたが、投資型金融商品が減少し、前中間期末比205億円減少の3兆4,593億円となりました。

【2行合算】

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
預金(含む 譲渡性預金)	105,266	240 (Δ1.02%)	105,026	106,357
うち個人預金(含む 譲渡性預金)	71,923	426 (+0.66%)	71,496	71,444

	A	28年9月末	28年3月末比	27年9月末比	28年3月末	27年9月末
個人預かり資産	A	77,392	Δ84	Δ152	77,477	77,545
預金(円貨、含む 譲渡性預金)		71,674	415	459	71,259	71,215
投資型金融商品	B	5,718	Δ499	Δ611	6,218	6,329
外貨預金		248	10	19	237	229
公共債		2,106	Δ245	Δ382	2,352	2,488
投資信託		3,363	Δ265	Δ248	3,628	3,611
(個人)投資型金融商品比率	B÷A	7.38%	Δ0.64%	Δ0.78%	8.02%	8.16%

【北陸銀行】

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
預金(含む 譲渡性預金)	61,066	Δ110 (+1.66%)	61,176	60,067
うち個人預金(含む 譲渡性預金)	39,919	275 (+0.79%)	39,643	39,605

	A	28年9月末	28年3月末比	27年9月末比	28年3月末	27年9月末
個人預かり資産	A	42,799	51	52	42,747	42,746
預金(円貨、含む 譲渡性預金)		39,772	253	280	39,519	39,491
投資型金融商品	B	3,027	Δ201	Δ227	3,228	3,255
外貨預金		147	22	33	124	114
公共債		1,110	Δ64	Δ93	1,174	1,203
投資信託		1,769	Δ159	Δ167	1,929	1,937
(個人)投資型金融商品比率	B÷A	7.07%	Δ0.48%	Δ0.54%	7.55%	7.61%

【北海道銀行】

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
預金(含む 譲渡性預金)	44,200	351 (Δ4.51%)	43,849	46,289
うち個人預金(含む 譲渡性預金)	32,003	150 (+0.51%)	31,853	31,839

	A	28年9月末	28年3月末比	27年9月末比	28年3月末	27年9月末
個人預かり資産	A	34,593	Δ136	Δ205	34,729	34,798
預金(円貨、含む 譲渡性預金)		31,902	162	178	31,740	31,724
投資型金融商品	B	2,690	Δ298	Δ383	2,989	3,074
外貨預金		101	Δ12	Δ13	113	114
公共債		996	Δ180	Δ288	1,177	1,285
投資信託		1,593	Δ105	Δ80	1,699	1,674
(個人)投資型金融商品比率	B÷A	7.77%	Δ0.83%	Δ1.06%	8.60%	8.83%

### 3. 有価証券の状況

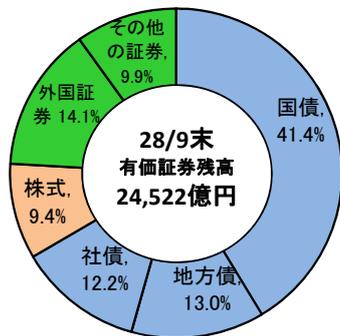
- ・ 有価証券残高は、金利情勢を勘案して円債については新規購入を控えて償還が進んだ一方で、外国証券や投資信託の運用を強化した結果、2行合算で前期末比563億円増加の2兆4,522億円となりました。
- ・ 評価損益は、株式市場の下落要因により株式評価益が減少したことに加え、残存期間の短縮化に伴い債券の評価益が減少したことから、2行合算で前期末比59億円減少の1,106億円となりました。

#### (1) 有価証券残高 (億円)

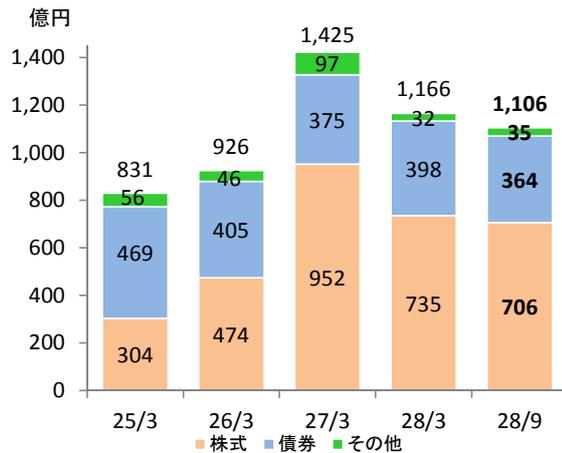
	2行合算									
	28年9月末		28年3月末	北陸銀行		北海道銀行		28年9月末	28年3月末	
		28年3月末比		28年9月末	28年3月末	28年9月末	28年3月末			
有価証券	24,522	563	23,958	13,842	403	13,439	10,680	160	10,519	
国債	10,144	△1,596	11,740	5,653	△228	5,882	4,491	△1,367	5,858	
地方債	3,184	△126	3,311	2,131	△88	2,220	1,053	△37	1,090	
社債	2,990	△34	3,025	1,545	△54	1,600	1,445	20	1,424	
株式	2,307	△10	2,317	1,394	1	1,393	912	△12	924	
外国証券	3,470	1,218	2,252	2,210	520	1,689	1,260	697	562	
その他の証券	2,424	1,112	1,311	905	253	652	1,518	859	658	
円貨債券デフレーション※	2.93年	0.01年	2.92年	2.84年	△0.19年	3.03年	3.06年	0.26年	2.80年	

※ヘッジ目的の金利スワップ考慮後のデフレーション

#### 《有価証券ポートフォリオ(2行合算)》



#### 《その他有価証券の評価損益の推移(2行合算)》



#### (2) 評価損益

(単体) (億円)

	2行合算									
	28年9月末		28年3月末	北陸銀行		北海道銀行		28年9月末	28年3月末	
		28年3月末比		28年9月末	28年3月末	28年9月末	28年3月末			
その他有価証券	1,106	△59	1,166	853	△53	906	253	△6	260	
株式	706	△28	735	461	△45	507	245	16	228	
債券	364	△34	398	284	△26	310	79	△7	87	
その他	35	3	32	106	18	87	△71	△15	△55	

(連結) (億円)

	FG連結			北陸銀行 (連結ベース)			北海道銀行 (連結ベース)		
	28年9月末		28年3月末	28年9月末		28年3月末	28年9月末		28年3月末
		28年3月末比		28年9月末	28年3月末		28年9月末	28年3月末	
その他有価証券	1,051	△59	1,111	853	△53	906	261	△6	268
株式	639	△28	668	461	△45	507	246	16	229
債券	362	△33	396	284	△26	310	79	△7	87
その他	49	2	47	106	18	87	△64	△15	△48

#### 4. 金融再生法開示債権

- ・ 2行合算の金融再生法開示債権は、前期末比79億円減少し、開示債権比率は同0.13ポイント改善の2.02%となりました。
- ・ 北陸銀行の金融再生法開示債権は、前期末比63億円減少し、開示債権比率は同0.17ポイント改善の2.01%となりました。
- ・ 北海道銀行の金融再生法開示債権は、前期末比15億円減少し、開示債権比率は同0.08ポイント改善の2.03%となりました。

#### 《金融再生法開示債権・開示債権比率の推移》



#### 【2行合算】

(億円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
破産更生債権等	203	△ 25	△ 52	228	256
危険債権	1,209	△ 47	△ 58	1,257	1,267
要管理債権	194	△ 6	△ 45	201	240
小計(金融再生法開示債権) A	1,606	△ 79	△ 156	1,686	1,763
正常債権	77,604	1,206	2,131	76,397	75,472
合計(総与信) B	79,210	1,127	1,975	78,083	77,235
開示債権比率(%) A÷B	2.02%	△ 0.13%	△ 0.26%	2.15%	2.28%

<参考>信用保証協会保証付貸出を控除した場合

開示債権比率(%)	1.57%
-----------	-------

#### 【北陸銀行】

(億円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
破産更生債権等	145	△ 17	△ 43	163	189
危険債権	659	△ 43	△ 41	703	701
要管理債権	108	△ 2	△ 31	111	140
小計(金融再生法開示債権) A	913	△ 63	△ 116	977	1,029
正常債権	44,290	667	1,201	43,622	43,088
合計(総与信) B	45,203	603	1,085	44,599	44,117
開示債権比率(%) A÷B	2.01%	△ 0.17%	△ 0.32%	2.18%	2.33%

<参考>信用保証協会保証付貸出を控除した場合

開示債権比率(%)	1.40%
-----------	-------

#### 【北海道銀行】

(億円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
破産更生債権等	58	△ 7	△ 9	65	67
危険債権	550	△ 4	△ 16	554	566
要管理債権	86	△ 4	△ 14	90	100
小計(金融再生法開示債権) A	693	△ 15	△ 39	709	733
正常債権	33,314	539	929	32,775	32,385
合計(総与信) B	34,008	523	889	33,484	33,118
開示債権比率(%) A÷B	2.03%	△ 0.08%	△ 0.18%	2.11%	2.21%

<参考>信用保証協会保証付貸出を控除した場合

開示債権比率(%)	1.80%
-----------	-------

## 5. 自己資本比率

- 自己資本比率は、利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したものの、貸出金等の増加によりリスクアセットが増加したことから、FG連結で前期末比0.02ポイント低下の10.28%となりました。

	FG連結			北陸銀行(単体)			北海道銀行(単体)		
	28年9月末	28年3月末	28年3月末比	28年9月末	28年3月末	28年3月末比	28年9月末	28年3月末	28年3月末比
	自己資本比率	10.28%	△0.02%	10.30%	9.48%	△0.30%	9.78%	10.05%	△0.18%

## 6. 業績予想

### (1) 平成28年度 利益予想

#### 【連結】ほくほくFG (億円)

	中間期実績	通期予想	前年度比
経常収益	939	1,820	△105
経常利益	237	395	△69
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	167	270	△18

#### 【単体】北陸銀行、北海道銀行 (億円)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	中間期実績	通期予想	前年度比	中間期実績	通期予想	前年度比	中間期実績	通期予想	前年度比
経常収益	864	1,670	△119	458	890	△43	405	780	△75
コア業務粗利益	694	1,365	△65	368	725	△28	325	640	△36
経費	445	915	5	238	490	3	207	425	2
コア業務純益	248	450	△70	129	235	△31	118	215	△38
与信費用	△11	20	△17	△10	5	16	△0	15	△33
経常利益	237	395	△72	145	235	△32	92	160	△40
当期(中間)純利益	172	280	△19	107	170	4	65	110	△24

(注) コア業務純益=コア業務粗利益-経費

(注) 与信費用=-一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額

### (2) ほくほくFG配当予想

	通期			前年度比
	28年度		27年度	
	中間	期末		
普通株式	0円00銭	42円50銭	42円50銭	—
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	—

(発行価格比  
配当利回り) (3.00%)

※平成28年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しております。  
上記の配当予想は併合後の1株当たりの配当金額となっております。

## Ⅱ.平成28年度中間決算の概況

### 1. 損益状況

【FG連結】

(百万円)

	28年度中間期		27年度中間期
		前中間期比	
連結粗利益	72,850	△ 3,965	76,816
資金利益	59,300	△ 1,641	60,941
役務取引等利益	12,094	△ 951	13,045
特定取引利益	95	△ 47	142
その他業務利益	1,360	△ 1,325	2,686
営業経費	49,628	△ 776	50,405
うちのれん償却	1,051	—	1,051
不良債権処理額	△ 1,336	△ 3,602	2,265
貸出金償却	115	14	100
貸倒引当金繰入額	—	△ 1,840	1,840
その他不良債権処理額	△ 876	△ 1,201	324
貸倒引当金戻入益	574	574	—
株式等関係損益	△ 1,563	△ 2,828	1,264
その他	715	△ 28	744
経常利益	23,709	△ 2,444	26,153
特別損益	△ 294	430	△ 724
税金等調整前中間純利益	23,415	△ 2,013	25,429
法人税、住民税及び事業税	5,123	△ 2,186	7,309
法人税等調整額	1,462	73	1,389
中間純利益	16,829	98	16,730
非支配株主に帰属する中間純利益	60	△ 8	69
親会社株主に帰属する中間純利益	16,768	107	16,661

※ 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託見合費用))  
+ (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (特定取引収益 - 特定取引費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	26,068	△ 3,087	29,155
連結コア業務純益	25,830	△ 2,727	28,558

※ 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結粗利益 - 営業経費(臨時処理分を除く)

※ 連結コア業務純益 = 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券損益等

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	11	—	11
持分法適用会社数	1	—	1

【北陸銀行】

(百万円)

	28年度中間期		27年度中間期
		前中間期比	
業務粗利益	37,074	△ 1,041	38,115
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 36,862 )	( △ 966 )	( 37,829 )
国内業務粗利益	35,221	△ 1,310	36,531
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 35,166 )	( △ 1,079 )	( 36,245 )
資金利益	30,485	△ 227	30,713
役務取引等利益	4,627	△ 665	5,293
特定取引利益	51	△ 34	85
その他業務利益	55	△ 383	438
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	( 54 )	( △ 231 )	( 286 )
国際業務粗利益	1,852	269	1,583
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 1,695 )	( 112 )	( 1,583 )
資金利益	1,083	140	943
役務取引等利益	138	△ 9	147
特定取引利益	0	0	0
その他業務利益	629	137	492
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	( 157 )	( 157 )	( - )
経費(除く臨時処理分)	23,877	△ 453	24,331
人件費	12,428	△ 88	12,516
物件費	9,722	△ 590	10,313
税金	1,726	224	1,501
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	13,196	△ 587	13,783
除く国債等債券損益(5勘定戻)	12,984	△ 513	13,497
一般貸倒引当金繰入①	┌ [320] -	△ 166	166
業務純益	13,196	△ 420	13,617
うち国債等債券損益(5勘定戻)	212	△ 74	286
臨時損益	1,324	2,018	△ 693
うち不良債権処理額②	△ 1,097	△ 1,828	730
貸出金償却	4	△ 19	23
個別貸倒引当金繰入額	┌ [△401] -	△ 483	483
延滞債権等売却損	4	0	3
偶発損失引当金繰入額	△ 360	△ 452	91
その他の債権売却損等	△ 665	△ 793	128
貸倒引当金戻入益	└ 81	81	-
(貸倒償却引当費用①+②)	( △ 1,097 )	( △ 1,995 )	( 897 )
うち株式等損益	395	△ 364	760
株式等売却益	1,119	9	1,110
株式等売却損	542	404	137
株式等償却	182	△ 30	212
経常利益	14,521	1,598	12,923
特別損益	△ 156	414	△ 571
うち固定資産処分損益	△ 24	102	△ 127
固定資産処分益	32	32	-
固定資産処分損	57	△ 70	127
うち減損損失	132	△ 312	444
税引前中間純利益	14,364	2,013	12,351
法人税、住民税及び事業税	3,268	△ 502	3,771
法人税等調整額	347	30	317
中間純利益	10,748	2,484	8,263

【北海道銀行】

(百万円)

	28年度中間期		27年度中間期
		前中間期比	
業務粗利益	32,612	△ 2,770	35,382
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 32,587 )	( △ 2,484 )	( 35,071 )
国内業務粗利益	31,782	△ 2,464	34,246
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 31,870 )	( △ 2,282 )	( 34,152 )
資金利益	27,284	△ 1,846	29,130
役務取引等利益	4,571	△ 165	4,737
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	△ 73	△ 452	378
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	( △ 88 )	( △ 182 )	( 93 )
国際業務粗利益	830	△ 305	1,135
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	( 716 )	( △ 202 )	( 918 )
資金利益	1,110	309	801
役務取引等利益	14	△ 1	16
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	△ 295	△ 613	318
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	( 113 )	( △ 103 )	( 217 )
経費(除く臨時処理分)	20,715	△ 286	21,002
人件費	9,379	△ 91	9,470
物件費	9,795	△ 366	10,162
税金	1,540	171	1,369
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11,896	△ 2,483	14,379
除く国債等債券損益(5勘定戻)	11,871	△ 2,197	14,068
一般貸倒引当金繰入①	┌ [△1,000] —	△ 136	136
業務純益	11,896	△ 2,347	14,243
うち国債等債券損益(5勘定戻)	25	△ 285	311
臨時損益	△ 2,668	△ 2,398	△ 270
うち不良債権処理額②	△ 81	△ 686	604
貸出金償却	—	△ 1	1
個別貸倒引当金繰入額	┌ [768] —	△ 490	490
延滞債権等売却損	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	77	137	△ 59
その他の債権売却損等	72	△ 100	172
貸倒引当金戻入益	└ 231	231	—
(貸倒償却引当費用①+②)	( △ 81 )	( △ 822 )	( 741 )
うち株式等損益	△ 1,893	△ 2,397	504
株式等売却益	1,408	△ 2,373	3,782
株式等売却損	3,297	29	3,267
株式等償却	4	△ 5	10
経常利益	9,227	△ 4,746	13,973
特別損益	△ 137	△ 32	△ 105
うち固定資産処分損益	△ 25	80	△ 106
固定資産処分益	0	△ 3	4
固定資産処分損	25	△ 84	110
うち減損損失	111	50	61
税引前中間純利益	9,089	△ 4,778	13,868
法人税、住民税及び事業税	1,448	△ 1,678	3,127
法人税等調整額	1,139	4	1,134
中間純利益	6,502	△ 3,104	9,606

## 2. 資金運用調達勘定(平残)

【国内業務部門】

(百万円)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
資金運用勘定	10,839,058	△ 88,954	10,928,012	6,270,447	△ 5,155	6,275,602	4,568,610	△ 83,798	4,652,409
貸出金	7,564,375	81,889	7,482,485	4,365,036	46,811	4,318,225	3,199,338	35,078	3,164,260
有価証券	2,041,949	△115,864	2,157,813	1,085,743	10,612	1,075,130	956,206	△126,477	1,082,683
資金調達勘定	10,857,869	88,507	10,769,361	6,348,791	157,024	6,191,766	4,509,077	△ 68,517	4,577,594
預金 (NCD含む)	10,520,455	△ 93,757	10,614,212	6,105,744	25,597	6,080,147	4,414,711	△ 119,354	4,534,065

【全行】

(百万円)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
資金運用勘定	11,061,444	△ 25,801	11,087,245	6,467,900	61,777	6,406,122	4,593,544	△ 87,578	4,681,123
貸出金	7,610,124	89,401	7,520,722	4,396,384	55,854	4,340,529	3,213,740	33,547	3,180,192
有価証券	2,343,042	△39,356	2,382,399	1,271,625	73,598	1,198,026	1,071,417	△112,954	1,184,372
資金調達勘定	11,074,064	150,161	10,923,903	6,541,709	222,501	6,319,207	4,532,355	△ 72,340	4,604,695
預金 (NCD含む)	10,596,338	△ 76,824	10,673,163	6,162,372	41,472	6,120,900	4,433,966	△ 118,296	4,552,262

## 3. 利回り・利鞘

【国内業務部門】

(%)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
(1) 資金運用利回り(A)	1.08	△0.06	1.14	0.99	△0.04	1.03	1.21	△0.08	1.29
貸出金利回り(B)	1.22	△0.09	1.31	1.11	△0.09	1.20	1.37	△0.08	1.45
有価証券利回り	1.14	△0.01	1.15	1.16	0.13	1.03	1.12	△0.15	1.27
(2) 資金調達原価(C)	0.82	△0.05	0.87	0.75	△0.06	0.81	0.92	△0.02	0.94
預金等利回り(D)	0.01	△0.02	0.03	0.01	△0.02	0.03	0.01	△0.02	0.03
預金経費率(E)	0.82	△0.01	0.83	0.75	△0.02	0.77	0.92	0.02	0.90
(3) 預貸金直接利鞘(B)-(D)	1.21	△0.06	1.27	1.10	△0.07	1.17	1.36	△0.05	1.41
(4) 預貸金利鞘(3)-(E)	0.38	△0.06	0.44	0.34	△0.05	0.39	0.44	△0.06	0.50
(5) 総資金利鞘(A)-(C)	0.26	△0.01	0.27	0.24	0.03	0.21	0.29	△0.06	0.35

【全行】

(%)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
(1) 資金運用利回り(A)	1.12	△ 0.05	1.17	1.04	△ 0.01	1.05	1.25	△ 0.07	1.32
貸出金利回り(B)	1.22	△ 0.08	1.30	1.12	△ 0.08	1.20	1.37	△ 0.07	1.44
有価証券利回り	1.23	0.03	1.20	1.25	0.15	1.10	1.21	△ 0.09	1.30
(2) 資金調達原価(C)	0.85	△ 0.04	0.89	0.79	△ 0.04	0.83	0.93	△ 0.02	0.95
預金等利回り(D)	0.01	△ 0.02	0.03	0.02	△ 0.01	0.03	0.01	△ 0.02	0.03
預金経費率(E)	0.83	△ 0.01	0.84	0.77	△ 0.02	0.79	0.93	0.01	0.92
(3) 預貸金直接利鞘(B)-(D)	1.21	△ 0.06	1.27	1.10	△ 0.06	1.16	1.36	△ 0.04	1.40
(4) 預貸金利鞘(3)-(E)	0.37	△ 0.05	0.42	0.32	△ 0.05	0.37	0.42	△ 0.06	0.48
(5) 総資金利鞘(A)-(C)	0.27	△ 0.01	0.28	0.24	0.03	0.21	0.32	△ 0.04	0.36

#### 4. 業務純益

(百万円)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
(1) コア業務純益	24,855	△ 2,710	27,566	12,984	△ 513	13,497	11,871	△ 2,197	14,068
職員一人当たり(千円)	4,803	△ 482	5,285	4,568	△ 140	4,709	5,088	△ 900	5,989
(2) 業務純益	25,093	△ 2,767	27,860	13,196	△ 420	13,617	11,896	△ 2,347	14,243
職員一人当たり(千円)	4,848	△ 493	5,342	4,643	△ 107	4,751	5,099	△ 964	6,063

#### 5. ROE・OHR・ROA

##### (1) ROE (株主資本利益率)

(%)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
コア業務純益ベース	9.81	△1.31	11.12	7.70	△0.51	8.21	14.45	△2.91	17.36
業務純益ベース	9.91	△1.33	11.24	7.83	△0.46	8.29	14.48	△3.11	17.59
中間純利益ベース	6.71	△0.38	7.09	6.37	1.34	5.03	7.44	△4.08	11.52

$$\text{ROE} = \frac{\text{中間純利益等} - \text{優先株式配当金総額} \div 183 \times 365}{\{ \text{期首純資産(除く優先株式)} + \text{期末純資産(除く優先株式)} \} \div 2} \times 100$$

##### (2) OHR (粗利益経費率)

(%)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
コア業務粗利益ベース	64.21	2.03	62.18	64.77	0.46	64.31	63.57	3.69	59.88
業務粗利益ベース	63.99	2.31	61.68	64.40	0.57	63.83	63.52	4.17	59.35

$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

##### (3) ROA (総資産利益率)

(%)

	2行合算								
				北陸銀行			北海道銀行		
	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期	28年度 中間期	前中間期比	27年度 中間期
コア業務純益ベース	0.42	△ 0.06	0.48	0.37	△ 0.03	0.40	0.49	△ 0.09	0.58
業務純益ベース	0.43	△ 0.05	0.48	0.38	△ 0.03	0.41	0.49	△ 0.09	0.58
中間純利益ベース	0.29	△ 0.02	0.31	0.31	0.07	0.24	0.27	△ 0.12	0.39

$$\text{ROA} = \frac{\text{中間純利益等} \div 183 \times 365}{\text{総資産期中平残} - \text{支払承諾見返期中平残}} \times 100$$

## 6. 営業経費・人員の推移・店舗数の推移

### (1) 営業経費

(百万円)

	2行合算											
	28年度			27年度			28年度			27年度		
	中間期	前中間期比	中間期	中間期	前中間期比	中間期	中間期	前中間期比	中間期	前中間期比	中間期	
営業経費	46,352	△644	46,996	24,818	△896	25,714	21,534	252	21,281			
給料・手当	18,423	△67	18,490	10,689	△26	10,716	7,733	△40	7,774			
退職給付費用	2,133	9	2,124	982	△474	1,457	1,151	484	666			
福利厚生費	190	15	174	102	4	98	87	11	76			
減価償却費	2,802	△1,083	3,885	1,639	△578	2,217	1,162	△505	1,667			
土地建物機械賃借料	1,864	24	1,840	606	7	599	1,257	17	1,240			
営繕費	179	47	131	131	34	96	48	13	34			
消耗品費	644	9	635	351	△21	373	293	31	261			
給水光熱費	493	△50	544	258	△40	299	235	△10	245			
旅費	333	13	320	208	8	200	125	5	120			
通信費	862	13	848	583	12	571	278	0	277			
広告宣伝費	592	51	541	292	48	244	299	2	296			
租税公課	3,267	396	2,870	1,726	224	1,501	1,540	171	1,369			
その他	14,564	△25	14,590	7,243	△95	7,339	7,320	70	7,250			

### (2) 人員の推移

(人)

	2行合算											
	28年9月末			27年9月末			28年9月末			27年9月末		
		27年9月末比			27年9月末比			27年9月末比		27年9月末比		
従業員	5,242	△32	5,274	2,877	△29	2,906	2,365	△3	2,368			
執行役員	25	1	24	13	0	13	12	1	11			
行員	5,217	△33	5,250	2,864	△29	2,893	2,353	△4	2,357			

### (3) 店舗数の推移

(店舗、カ所)

	2行合算											
	28年9月末			27年9月末			28年9月末			27年9月末		
		27年9月末比			27年9月末比			27年9月末比		27年9月末比		
本支店	280	0	280	145	0	145	135	0	135			
出張所	48	0	48	42	0	42	6	0	6			
国内計	328	0	328	187	0	187	141	0	141			
うち北海道	158	△1	159	19	△1	20	139	0	139			
うち富山県	92	1	91	92	1	91	0	0	0			
うち石川県	36	0	36	36	0	36	0	0	0			
うち福井県	22	0	22	22	0	22	0	0	0			
うちその他	20	0	20	18	0	18	2	0	2			
海外駐在員事務所	9	0	9	6	0	6	3	0	3			

## 7. 有価証券関係損益

### 【FG連結】

(百万円)

	28年度 中間期	前中間期比		27年度 中間期
国債等債券損益	237	△ 359		597
売却益	472	△ 36		508
償還益	20	△ 67		88
売却損	255	255		—
償還損	—	—		—
償却	—	—		—
株式等損益	△ 1,563	△ 2,828		1,264
売却益	2,533	△ 2,359		4,893
売却損	3,910	504		3,405
償却	186	△ 35		222

### 【2行合算】

(百万円)

	28年度 中間期	前中間期比		27年度 中間期
国債等債券損益	237	△ 359		597
売却益	472	△ 36		508
償還益	20	△ 67		88
売却損	255	255		—
償還損	—	—		—
償却	—	—		—
株式等損益	△ 1,497	△ 2,761		1,264
売却益	2,528	△ 2,364		4,892
売却損	3,839	433		3,405
償却	186	△ 36		222

### 【北陸銀行】

(百万円)

	28年度 中間期	前中間期比		27年度 中間期
国債等債券損益	212	△ 74		286
売却益	212	△ 73		286
償還益	—	—		—
売却損	0	0		—
償還損	—	—		—
償却	—	—		—
株式等損益	395	△ 364		760
売却益	1,119	9		1,110
売却損	542	404		137
償却	182	△ 30		212

### 【北海道銀行】

(百万円)

	28年度 中間期	前中間期比		27年度 中間期
国債等債券損益	25	△ 285		311
売却益	260	37		222
償還益	20	△ 67		88
売却損	255	255		—
償還損	—	—		—
償却	—	—		—
株式等損益	△ 1,893	△ 2,397		504
売却益	1,408	△ 2,373		3,782
売却損	3,297	29		3,267
償却	4	△ 5		10

## 8. 有価証券の評価損益

### (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社及び関連会社株式	原価法

### (2) 評価損益

#### 【FG連結】

(百万円)

	28年9月末				28年3月末		
	評価損益	28年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
					評価益	評価損	
満期保有目的	14,697	731	14,743	45	13,966	14,030	64
その他有価証券	105,140	△5,991	123,220	18,080	111,131	127,111	15,979
株式	63,927	△2,881	70,328	6,401	66,808	73,792	6,983
債券	36,221	△3,379	36,339	117	39,601	39,718	117
その他	4,991	269	16,552	11,561	4,721	13,600	8,879
合計	119,838	△5,259	137,964	18,126	125,097	141,141	16,044
株式	63,927	△2,881	70,328	6,401	66,808	73,792	6,983
債券	50,919	△2,647	51,082	163	53,567	53,749	182
その他	4,991	269	16,552	11,561	4,721	13,600	8,879

#### 【2行合算】

(百万円)

	28年9月末				28年3月末		
	評価損益	28年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
					評価益	評価損	
満期保有目的	14,415	746	14,461	45	13,669	13,733	64
その他有価証券	110,658	△5,975	126,435	15,777	116,634	130,674	14,040
株式	70,688	△2,889	74,820	4,132	73,577	78,690	5,112
債券	36,414	△3,403	36,498	83	39,817	39,866	49
その他	3,555	316	15,116	11,561	3,238	12,117	8,879
合計	125,074	△5,229	140,897	15,822	130,303	144,408	14,104
株式	70,688	△2,889	74,820	4,132	73,577	78,690	5,112
債券	50,829	△2,656	50,959	129	53,486	53,600	113
その他	3,555	316	15,116	11,561	3,238	12,117	8,879

#### 【北陸銀行】

(百万円)

	28年9月末				28年3月末		
	評価損益	28年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
					評価益	評価損	
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	85,302	△5,307	88,293	2,991	90,609	93,639	3,029
株式	46,180	△4,552	47,617	1,436	50,732	52,463	1,730
債券	28,433	△2,647	28,496	63	31,080	31,094	14
その他	10,689	1,892	12,179	1,490	8,796	10,080	1,284
合計	85,302	△5,307	88,293	2,991	90,609	93,639	3,029
株式	46,180	△4,552	47,617	1,436	50,732	52,463	1,730
債券	28,433	△2,647	28,496	63	31,080	31,094	14
その他	10,689	1,892	12,179	1,490	8,796	10,080	1,284

#### 【北海道銀行】

(百万円)

	28年9月末				28年3月末		
	評価損益	28年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
					評価益	評価損	
満期保有目的	14,415	746	14,461	45	13,669	13,733	64
その他有価証券	25,355	△668	38,141	12,785	26,024	37,035	11,011
株式	24,508	1,663	27,203	2,695	22,844	26,226	3,381
債券	7,981	△755	8,001	20	8,737	8,771	34
その他	△7,133	△1,575	2,936	10,070	△5,557	2,037	7,594
合計	39,771	77	52,603	12,831	39,693	50,769	11,075
株式	24,508	1,663	27,203	2,695	22,844	26,226	3,381
債券	22,396	△9	22,462	65	22,406	22,505	99
その他	△7,133	△1,575	2,936	10,070	△5,557	2,037	7,594

## 9. 自己資本比率

信用リスクの計測手法として『標準的手法』を、また、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

### 【FG連結】(国内基準)

(百万円)

	28年9月末		27年9月末比	28年3月末	27年9月末
		28年3月末比			
(1) 自己資本比率	10.28 %	△ 0.02 %	△ 0.61 %	10.30 %	10.89 %
(2) 自己資本 ①-②	561,179	13,087	△ 10,685	548,092	571,865
①コア資本に係る基礎項目	579,709	11,856	△ 12,660	567,852	592,369
うち株主資本	433,863	12,503	18,189	421,359	415,674
うち一般貸倒引当金等	15,485	△ 1,192	△ 7,713	16,678	23,199
うち永久優先株	53,716	—	—	53,716	53,716
うち劣後債務	72,500	—	△ 19,000	72,500	91,500
②コア資本に係る調整項目	18,529	△ 1,230	△ 1,974	19,760	20,503
うち無形固定資産	18,273	△ 1,162	△ 1,371	19,435	19,645
(3) リスクアセット	5,455,823	137,435	208,046	5,318,387	5,247,776

### 【北陸銀行】(国内基準)

(単体)

(百万円)

	28年9月末		27年9月末比	28年3月末	27年9月末
		28年3月末比			
(1) 自己資本比率	9.48 %	△ 0.30 %	△ 0.83 %	9.78 %	10.31 %
(2) 自己資本 ①-②	302,071	△ 222	△ 15,287	302,294	317,358
①コア資本に係る基礎項目	303,841	△ 196	△ 14,565	304,037	318,406
うち株主資本	255,995	△ 387	7,865	256,383	248,129
うち一般貸倒引当金等	5,054	229	△ 4,719	4,824	9,773
うち永久優先株	—	—	—	—	—
うち劣後債務	37,500	—	△ 17,000	37,500	54,500
②コア資本に係る調整項目	1,769	26	721	1,742	1,047
うち無形固定資産	879	△ 29	398	908	481
(3) リスクアセット	3,184,266	94,528	107,123	3,089,737	3,077,142

(連結)

自己資本比率	9.46 %	△ 0.28 %	△ 0.85 %	9.74 %	10.31 %
自己資本	301,434	144	△ 16,111	301,289	317,545
リスクアセット	3,185,779	93,305	107,614	3,092,473	3,078,165

### 【北海道銀行】(国内基準)

(単体)

(百万円)

	28年9月末		27年9月末比	28年3月末	27年9月末
		28年3月末比			
(1) 自己資本比率	10.05 %	△ 0.18 %	△ 0.40 %	10.23 %	10.45 %
(2) 自己資本 ①-②	225,406	2,507	1,917	222,899	223,489
①コア資本に係る基礎項目	226,298	1,867	1,858	224,430	224,439
うち株主資本	133,412	2,776	5,806	130,635	127,606
うち一般貸倒引当金等	4,169	△ 909	△ 1,948	5,079	6,117
うち永久優先株	53,716	—	—	53,716	53,716
うち劣後債務	35,000	—	△ 2,000	35,000	37,000
②コア資本に係る調整項目	891	△ 639	△ 59	1,531	950
うち無形固定資産	690	△ 70	307	760	382
(3) リスクアセット	2,242,498	63,643	105,743	2,178,855	2,136,755

(連結)

自己資本比率	10.16 %	△ 0.17 %	△ 0.52 %	10.33 %	10.68 %
自己資本	228,899	2,599	△ 779	226,300	229,679
リスクアセット	2,252,553	63,343	103,138	2,189,209	2,149,414

### Ⅲ. 貸出金等の状況

#### 1. 金融再生法開示債権(部分直接償却実施後)

【 2行合算 】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比			27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,275	△ 2,544	△ 5,290	22,820	25,566
危険債権	120,904	△ 4,764	△ 5,800	125,668	126,704
要管理債権	19,436	△ 672	△ 4,554	20,108	23,990
小計(A)	160,616	△ 7,981	△ 15,645	168,598	176,261
正常債権	7,760,406	120,698	213,163	7,639,707	7,547,242
合計(B)	7,921,022	112,716	197,518	7,808,305	7,723,504
比率(A) / (B) (%)	2.02	△ 0.13	△ 0.26	2.15	2.28

部分直接償却実施額	53,115	△ 8,367	△ 19,326	61,483	72,442
-----------	--------	---------	----------	--------	--------

【 北陸銀行 】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比			27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,511	△ 1,784	△ 4,371	16,295	18,883
危険債権	65,943	△ 4,361	△ 4,171	70,305	70,115
要管理債権	10,826	△ 236	△ 3,124	11,062	13,950
小計(A)	91,281	△ 6,381	△ 11,668	97,663	102,949
正常債権	4,428,970	66,773	120,194	4,362,196	4,308,776
合計(B)	4,520,252	60,391	108,526	4,459,860	4,411,726
比率(A) / (B) (%)	2.01	△ 0.17	△ 0.32	2.18	2.33

部分直接償却実施額	39,115	△ 3,845	△ 13,985	42,961	53,101
-----------	--------	---------	----------	--------	--------

【 北海道銀行 】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末	
		28年3月末比			27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,764	△ 760	△ 918	6,524	6,683
危険債権	54,960	△ 402	△ 1,628	55,363	56,588
要管理債権	8,610	△ 436	△ 1,429	9,046	10,039
小計(A)	69,334	△ 1,599	△ 3,977	70,934	73,312
正常債権	3,331,435	53,924	92,969	3,277,510	3,238,466
合計(B)	3,400,770	52,325	88,991	3,348,445	3,311,778
比率(A) / (B) (%)	2.03	△ 0.08	△ 0.18	2.11	2.21

部分直接償却実施額	14,000	△ 4,521	△ 5,340	18,522	19,340
-----------	--------	---------	---------	--------	--------

## 2. 金融再生法開示債権の保全状況

【2行合算】

引当・保全状況		(部分直接償却後)				(億円)				(%)		
自己査定における債務者区分	金融再生法に基づく開示債権(A)	分類				担保・保証(B)	引当金(C)	引当率(D)	保全率(E)			
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類							
破綻先 39	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	引当金・担保・保証等による保全部分		全額引当	全額償却・引当	177	24	100.00	100.00			
実質破綻先 162		75	127	—	—							
破綻懸念先 1,209	危険債権 1,209	707	378	123	—	746	339	73.34	89.79			
要管理先 5,143	要管理債権 194	要管理先	要管理先			要管理債権 146	要管理債権 7	要管理債権 14.92	要管理債権 78.86			
		23	214			(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)			
	要管理先以外 4,906	要管理先以外	要管理先以外			要管理先以外	172	9	14.95	76.74		
正常先 72,654	正常債権 77,604	要管理先以外 1,401	要管理先以外 3,503	要管理先以外 0	要管理先以外 2,949	要管理先以外 46	要管理先以外 2.39					
		72,654									要管理債権以下合計 89.76	
												(部分直接償却後)
合計 79,210	合計 79,210	非分類 74,862	Ⅱ分類 4,223	Ⅲ分類 123	Ⅳ分類 —							要管理債権以下合計 92.30
												(部分直接償却前)

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

※ 部分直接償却とは、資産の自己査定により「回収不能または無価値」と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額または保証等による回収が可能と認められる額を控除した残額を貸倒償却として債権額から直接減額することをいいます。

(百万円、%)

		債権額	担保・保証等	個別貸倒引当金等	引当率	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	28年9月末	20,275	17,786	2,489	100.00	100.00
	28年3月末	22,820	19,896	2,924	100.00	100.00
	28年3月末比	△ 2,544	△ 2,109	△ 434	—	—
危険債権	28年9月末	120,904	74,609	33,956	73.34	89.79
	28年3月末	125,668	78,453	34,418	72.89	89.81
	28年3月末比	△ 4,764	△ 3,843	△ 462	0.45	△ 0.02
要管理債権	28年9月末	19,436	14,608	720	14.92	78.86
	28年3月末	20,108	15,538	726	15.89	80.88
	28年3月末比	△ 672	△ 930	△ 5	△ 0.97	△ 2.02
合計	28年9月末	160,616	107,004	37,166	69.32	89.76
	28年3月末	168,598	113,888	38,069	69.58	90.13
	28年3月末比	△ 7,981	△ 6,883	△ 902	△ 0.26	△ 0.37

【北陸銀行】

引当・保全状況

(部分直接償却後)

自己査定における債務者区分		金融再生法に基づく開示債権(A)	分類				担保・保証(B)	引当金(C)	引当率(D)	保全率(E)
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	26	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	引当金・担保・保証等による保全部分		全額引当	全額償却・引当	128	16	100.00	100.00
実質破綻先	118		56	88	—	—				
破綻懸念先	659	危険債権	391	208	59	—	484	115	66.11	90.99
要注意先	要管理先	要管理債権	要管理先	要管理先			要管理債権	要管理債権	要管理債権	要管理債権
	145		108	61			6	14.87	63.03	
	3,267	正常債権	18	126			(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)
要管理先以外	3,122		要管理先以外	要管理先以外	83	9	14.87	63.70		
正常先	41,130	44,290	1,009	2,112	要管理先以外	要管理先以外	2,076	19	1.84	
合計	45,202	合計	42,607	2,535	59	—				要管理債権以下合計
										89.10
										(部分直接償却後)
										要管理債権以下合計
										92.37
										(部分直接償却前)

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

※ 部分直接償却とは、資産の自己査定により「回収不能または無価値」と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額または保証等による回収が可能と認められる額を控除した残額を貸倒償却として債権額から直接減額することをいいます。

(百万円、%)

		債権額	担保・保証等	個別貸倒引当金等	引当率	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	28年9月末	14,511	12,881	1,629	100.00	100.00
	28年3月末	16,295	14,347	1,948	100.00	100.00
	28年3月末比	△ 1,784	△ 1,465	△ 318	—	—
危険債権	28年9月末	65,943	48,417	11,587	66.11	90.99
	28年3月末	70,305	51,002	12,809	66.35	90.76
	28年3月末比	△ 4,361	△ 2,585	△ 1,221	△ 0.24	0.23
要管理債権	28年9月末	10,826	6,124	699	14.87	63.03
	28年3月末	11,062	6,755	698	16.20	67.37
	28年3月末比	△ 236	△ 630	1	△ 1.33	△ 4.34
合計	28年9月末	91,281	67,423	13,916	58.33	89.10
	28年3月末	97,663	72,104	15,455	60.47	89.65
	28年3月末比	△ 6,381	△ 4,681	△ 1,538	△ 2.14	△ 0.55

【北海道銀行】

引当・保全状況

(部分直接償却後)

自己査定における債務者区分		金融再生法に基づく開示債権(A)	分類				担保・保証(B)	引当金(C)	引当率(D)	保全率(E)
			非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 13		破産更生債権及びこれらに準ずる債権 58	引当金・担保・保証等による保全部分		全額引当	49	8	100.00	100.00	
実質破綻先 44			19	38	—					—
破綻懸念先 549		危険債権 550	315	170	63	—	261	223	77.75	88.35
要 注 意 先 1,876	要管理先 92	要管理債権 86	要管理先	要管理先	要管理先以外 0	要管理債権 84	要管理債権 0	要管理債権 16.56	要管理債権 98.77	
	要管理先以外 1,783	正常債権 33,314	5	87		(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)	(要管理先)	
	要管理先以外 1,783		要管理先以外 391	要管理先以外 1,391		89	0	16.56	97.20	
正常先 31,523		正常債権 33,314	31,523			要管理先以外 873	要管理先以外 27	要管理先以外 3.01		
合計 34,007			合計 34,008	非分類 32,255	Ⅱ分類 1,687	Ⅲ分類 64	Ⅳ分類 —			要管理債権以下合計 90.62
										要管理債権以下合計 92.19

(部分直接償却後)  
(部分直接償却前)

※ 引当率(D) = 引当金(C) ÷ { 債権額(A) - 担保・保証(B) } × 100

※ 保全率(E) = { 引当金(C) + 担保・保証(B) } ÷ 債権額(A) × 100

※ 部分直接償却とは、資産の自己査定により「回収不能または無価値」と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額または保証等による回収が可能と認められる額を控除した残額を貸倒償却として債権額から直接減額することをいいます。

(百万円、%)

		債権額	担保・保証等	個別貸倒引当金等	引当率	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	28年9月末	5,764	4,904	859	100.00	100.00
	28年3月末	6,524	5,549	975	100.00	100.00
	28年3月末比	△ 760	△ 644	△ 116	—	—
危険債権	28年9月末	54,960	26,192	22,369	77.75	88.35
	28年3月末	55,363	27,451	21,609	77.42	88.61
	28年3月末比	△ 402	△ 1,258	759	0.33	△ 0.26
要管理債権	28年9月末	8,610	8,483	20	16.56	98.77
	28年3月末	9,046	8,783	28	10.74	97.40
	28年3月末比	△ 436	△ 299	△ 7	5.82	1.37
合計	28年9月末	69,334	39,581	23,249	78.14	90.62
	28年3月末	70,934	41,783	22,613	77.57	90.78
	28年3月末比	△ 1,599	△ 2,202	636	0.57	△ 0.16

### 3. リスク管理債権の状況(部分直接償却実施後)

【2行合算】

(百万円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	3,788	△ 415	△ 907	4,203	4,695
延滞債権額	135,365	△ 6,599	△ 10,083	141,965	145,449
3カ月以上延滞債権額	764	387	△ 671	376	1,435
貸出条件緩和債権額	18,671	△ 1,060	△ 3,882	19,731	22,554
合計	158,590	△ 7,687	△ 15,545	166,278	174,136

貸出金残高(末残)	7,700,418	100,790	181,121	7,599,627	7,519,296
					(%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.04	△ 0.01	△ 0.02	0.05	0.06
延滞債権額	1.75	△ 0.11	△ 0.18	1.86	1.93
3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	△ 0.01	0.00	0.01
貸出条件緩和債権額	0.24	△ 0.01	△ 0.05	0.25	0.29
合計	2.05	△ 0.13	△ 0.26	2.18	2.31

【北陸銀行】

(百万円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	2,498	△ 358	△ 546	2,856	3,045
延滞債権額	76,411	△ 5,655	△ 8,098	82,067	84,509
3カ月以上延滞債権額	764	387	△ 671	376	1,435
貸出条件緩和債権額	10,061	△ 623	△ 2,453	10,685	12,514
合計	89,736	△ 6,250	△ 11,769	95,987	101,505

貸出金残高(末残)	4,446,042	62,599	113,078	4,383,442	4,332,963
					(%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.05	△ 0.01	△ 0.02	0.06	0.07
延滞債権額	1.71	△ 0.16	△ 0.24	1.87	1.95
3カ月以上延滞債権額	0.01	0.01	△ 0.02	0.00	0.03
貸出条件緩和債権額	0.22	△ 0.02	△ 0.06	0.24	0.28
合計	2.01	△ 0.17	△ 0.33	2.18	2.34

【北海道銀行】

(百万円)

	28年9月末			28年3月末	27年9月末
		28年3月末比	27年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	1,289	△ 57	△ 360	1,346	1,650
延滞債権額	58,954	△ 943	△ 1,985	59,897	60,940
3カ月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	8,610	△ 436	△ 1,429	9,046	10,039
合計	68,854	△ 1,436	△ 3,776	70,291	72,630

貸出金残高(末残)	3,254,376	38,191	68,042	3,216,184	3,186,333
					(%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.03	△ 0.01	△ 0.02	0.04	0.05
延滞債権額	1.81	△ 0.05	△ 0.10	1.86	1.91
3カ月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	0.26	△ 0.02	△ 0.05	0.28	0.31
合計	2.11	△ 0.07	△ 0.16	2.18	2.27

#### 4. 貸倒引当金の状況

【2行合算】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
貸倒引当金	44,652	△ 1,590	46,242	45,844
一般貸倒引当金	7,783	△ 680	8,463	14,347
個別貸倒引当金	36,868	△ 910	37,779	31,497

【北陸銀行】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
貸倒引当金	17,721	△ 1,222	18,944	21,665
一般貸倒引当金	4,232	320	3,912	8,760
個別貸倒引当金	13,489	△ 1,543	15,032	12,905

【北海道銀行】

(百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
貸倒引当金	26,930	△ 367	27,298	24,178
一般貸倒引当金	3,551	△ 1,000	4,551	5,587
個別貸倒引当金	23,379	632	22,746	18,591

#### 5. リスク管理債権に対する引当率

【2行合算】

(%、百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
部分直接償却前	46.18	△ 1.11	47.29	47.97
部分直接償却後	28.15	0.34	27.81	26.32
部分直接償却実施額	53,115	△ 8,367	61,483	72,442

【北陸銀行】

(%、百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
部分直接償却前	44.11	△ 0.44	44.55	48.35
部分直接償却後	19.74	0.01	19.73	21.34
部分直接償却実施額	39,115	△ 3,845	42,961	53,101

【北海道銀行】

(%、百万円)

	28年9月末		28年3月末	27年9月末
	28年3月末比	27年9月末比		
部分直接償却前	49.40	△ 2.19	51.59	47.31
部分直接償却後	39.11	0.28	38.83	33.29
部分直接償却実施額	14,000	△ 4,521	18,522	19,340

## 6. 預金・貸出金の残高

【2行合算】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
預金	(未残)	10,526,686	24,085	△ 109,045	10,502,600	10,635,732
(含む譲渡性預金)	(平残)	10,596,338	△ 42,608	△ 76,824	10,638,947	10,673,163
貸出金	(未残)	7,700,418	100,790	181,121	7,599,627	7,519,296
	(平残)	7,610,124	64,378	89,401	7,545,745	7,520,722

【北陸銀行】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
預金	(未残)	6,106,653	△ 11,018	99,916	6,117,671	6,006,736
(含む譲渡性預金)	(平残)	6,162,372	61,110	41,472	6,101,262	6,120,900
貸出金	(未残)	4,446,042	62,599	113,078	4,383,442	4,332,963
	(平残)	4,396,384	47,490	55,854	4,348,893	4,340,529

【北海道銀行】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
預金	(未残)	4,420,033	35,103	△ 208,962	4,384,929	4,628,995
(含む譲渡性預金)	(平残)	4,433,966	△ 103,719	△ 118,296	4,537,685	4,552,262
貸出金	(未残)	3,254,376	38,191	68,042	3,216,184	3,186,333
	(平残)	3,213,740	16,888	33,547	3,196,851	3,180,192

## 7. 中小企業等貸出残高・比率

【2行合算】

(百万円、%)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
中小企業等貸出残高		4,898,846	53,815	133,056	4,845,031	4,765,789
中小企業等貸出比率		63.61	△ 0.14	0.23	63.75	63.38

【北陸銀行】

(百万円、%)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
中小企業等貸出残高		2,938,037	19,892	77,214	2,918,145	2,860,823
中小企業等貸出比率		66.08	△ 0.49	0.06	66.57	66.02

【北海道銀行】

(百万円、%)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
中小企業等貸出残高		1,960,809	33,923	55,842	1,926,886	1,904,966
中小企業等貸出比率		60.25	0.34	0.47	59.91	59.78

## 8. 個人ローン残高

【2行合算】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
個人ローン残高		2,181,092	25,023	22,441	2,156,068	2,158,650
うち住宅系ローン残高		2,041,218	19,525	13,408	2,021,693	2,027,810
うちその他のローン残高		139,873	5,497	9,033	134,375	130,840

【北陸銀行】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
個人ローン残高		1,169,863	2,222	△ 6,520	1,167,641	1,176,384
うち住宅系ローン残高		1,109,306	557	△ 9,228	1,108,749	1,118,535
うちその他のローン残高		60,557	1,665	2,707	58,891	57,849

【北海道銀行】

(百万円)

		28年9月末			28年3月末	27年9月末
			28年3月末比	27年9月末比		
個人ローン残高		1,011,228	22,800	28,961	988,427	982,266
うち住宅系ローン残高		931,911	18,968	22,636	912,943	909,275
うちその他のローン残高		79,316	3,832	6,325	75,484	72,991

## 9. 業種別貸出状況等

### 業種別貸出金【2行合算】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	7,700,418	100.0%	7,599,627	100.0%	7,519,296	100.0%
製造業	817,373	10.6%	822,890	10.8%	833,955	11.1%
農業，林業	24,723	0.3%	29,424	0.4%	25,976	0.3%
漁業	2,262	0.0%	2,968	0.0%	4,148	0.1%
鉱業，採石業，砂利採取業	4,164	0.1%	4,011	0.1%	3,191	0.0%
建設業	272,631	3.5%	283,273	3.7%	274,197	3.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	120,729	1.6%	119,285	1.6%	112,936	1.5%
情報通信業	53,150	0.7%	47,461	0.6%	47,206	0.6%
運輸業，郵便業	183,374	2.4%	180,526	2.4%	187,522	2.5%
卸売業，小売業	769,355	10.0%	770,447	10.1%	769,600	10.2%
金融業，保険業	363,224	4.7%	379,105	5.0%	314,270	4.2%
不動産業，物品賃貸業	757,458	9.8%	708,431	9.3%	684,838	9.1%
各種サービス業（学術研究他）	574,108	7.5%	560,318	7.4%	590,689	7.9%
地方公共団体等	1,534,258	19.9%	1,494,401	19.7%	1,470,160	19.6%
（うち政府向け）	157,551	2.0%	108,960	1.4%	101,015	1.3%
その他	2,223,609	28.9%	2,197,086	28.9%	2,200,607	29.3%

### 業種別リスク管理債権【2行合算】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	158,590	100.0%	166,278	100.0%	174,136	100.0%
製造業	25,947	16.4%	28,042	16.9%	29,742	17.1%
農業，林業	616	0.4%	633	0.4%	584	0.3%
漁業	321	0.2%	339	0.2%	2,136	1.2%
鉱業，採石業，砂利採取業	171	0.1%	212	0.1%	202	0.1%
建設業	20,024	12.6%	19,364	11.6%	22,658	13.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	557	0.3%	572	0.3%	602	0.4%
情報通信業	1,203	0.8%	1,268	0.8%	1,276	0.7%
運輸業，郵便業	2,218	1.4%	2,436	1.5%	2,625	1.5%
卸売業，小売業	30,295	19.1%	31,442	18.9%	30,611	17.6%
金融業，保険業	189	0.1%	227	0.1%	274	0.2%
不動産業，物品賃貸業	20,284	12.8%	22,384	13.5%	23,675	13.6%
各種サービス業（学術研究他）	25,384	16.0%	25,403	15.3%	25,824	14.8%
地方公共団体等	—	—	—	—	—	—
その他	31,375	19.8%	33,949	20.4%	33,921	19.5%

業種別貸出金【北陸銀行】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	4,446,042	100.0%	4,383,442	100.0%	4,332,963	100.0%
製造業	561,536	12.6%	562,734	12.8%	564,881	13.0%
農業，林業	11,221	0.2%	16,002	0.4%	13,299	0.3%
漁業	725	0.0%	1,420	0.0%	2,416	0.1%
鉱業，採石業，砂利採取業	1,481	0.0%	1,445	0.0%	1,263	0.0%
建設業	171,297	3.9%	176,463	4.0%	167,304	3.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	65,155	1.5%	65,072	1.5%	62,769	1.4%
情報通信業	29,294	0.7%	24,262	0.6%	23,937	0.6%
運輸業，郵便業	85,692	1.9%	82,005	1.9%	86,044	2.0%
卸売業，小売業	465,113	10.5%	462,631	10.6%	464,370	10.7%
金融業，保険業	210,333	4.7%	237,019	5.4%	172,474	4.0%
不動産業，物品賃貸業	428,816	9.7%	392,975	9.0%	382,248	8.8%
各種サービス業（学術研究他）	351,683	7.9%	342,809	7.8%	377,185	8.7%
地方公共団体等	866,305	19.5%	824,710	18.8%	812,115	18.7%
（うち政府向け）	152,551	3.4%	101,460	2.3%	91,015	2.1%
その他	1,197,391	26.9%	1,193,895	27.2%	1,202,657	27.8%

業種別リスク管理債権【北陸銀行】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	89,736	100.0%	95,987	100.0%	101,505	100.0%
製造業	19,754	22.0%	21,547	22.4%	23,074	22.7%
農業，林業	21	0.0%	55	0.1%	63	0.1%
漁業	159	0.2%	169	0.2%	1,936	1.9%
鉱業，採石業，砂利採取業	48	0.1%	110	0.1%	81	0.1%
建設業	10,454	11.6%	9,854	10.3%	12,250	12.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	14	0.0%
情報通信業	384	0.4%	433	0.4%	478	0.5%
運輸業，郵便業	1,224	1.4%	1,407	1.5%	1,558	1.5%
卸売業，小売業	20,680	23.0%	22,391	23.3%	21,575	21.2%
金融業，保険業	144	0.2%	147	0.2%	160	0.2%
不動産業，物品賃貸業	8,869	9.9%	9,967	10.4%	11,068	10.9%
各種サービス業（学術研究他）	13,460	15.0%	13,085	13.6%	12,478	12.3%
地方公共団体等	—	—	—	—	—	—
その他	14,532	16.2%	16,816	17.5%	16,764	16.5%

業種別貸出金【北海道銀行】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	3,254,376	100.0%	3,216,184	100.0%	3,186,333	100.0%
製造業	255,837	7.9%	260,156	8.1%	269,074	8.4%
農業，林業	13,502	0.4%	13,422	0.4%	12,677	0.4%
漁業	1,537	0.1%	1,548	0.0%	1,732	0.1%
鉱業，採石業，砂利採取業	2,683	0.1%	2,566	0.1%	1,928	0.1%
建設業	101,334	3.1%	106,810	3.3%	106,893	3.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	55,574	1.7%	54,213	1.7%	50,167	1.6%
情報通信業	23,856	0.7%	23,199	0.7%	23,269	0.7%
運輸業，郵便業	97,682	3.0%	98,521	3.1%	101,478	3.2%
卸売業，小売業	304,242	9.4%	307,816	9.6%	305,230	9.6%
金融業，保険業	152,891	4.7%	142,086	4.4%	141,796	4.4%
不動産業，物品賃貸業	328,642	10.1%	315,456	9.8%	302,590	9.5%
各種サービス業（学術研究他）	222,425	6.8%	217,509	6.8%	213,504	6.7%
地方公共団体等	667,953	20.5%	669,691	20.8%	658,045	20.6%
（うち政府向け）	5,000	0.2%	7,500	0.2%	10,000	0.3%
その他	1,026,218	31.5%	1,003,191	31.2%	997,950	31.3%

業種別リスク管理債権【北海道銀行】

(単位：百万円)

	28年9月末		28年3月末		27年9月末	
		構成比		構成比		構成比
国内（除く特別国際金融取引勘定）	68,854	100.0%	70,291	100.0%	72,630	100.0%
製造業	6,193	9.0%	6,495	9.2%	6,668	9.2%
農業，林業	594	0.9%	577	0.8%	520	0.7%
漁業	161	0.2%	170	0.2%	200	0.3%
鉱業，採石業，砂利採取業	122	0.2%	102	0.2%	120	0.2%
建設業	9,569	13.9%	9,510	13.5%	10,408	14.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	557	0.8%	572	0.8%	588	0.8%
情報通信業	818	1.2%	834	1.2%	797	1.1%
運輸業，郵便業	994	1.4%	1,028	1.5%	1,066	1.5%
卸売業，小売業	9,615	14.0%	9,051	12.9%	9,035	12.4%
金融業，保険業	44	0.1%	79	0.1%	114	0.1%
不動産業，物品賃貸業	11,414	16.6%	12,416	17.7%	12,607	17.4%
各種サービス業（学術研究他）	11,924	17.3%	12,317	17.5%	13,346	18.4%
地方公共団体等	—	—	—	—	—	—
その他	16,842	24.4%	17,132	24.4%	17,156	23.6%